三菱重工

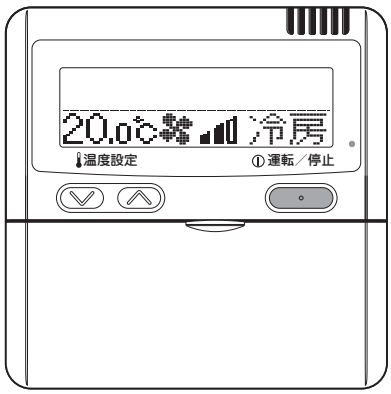
中温用パッケージエアコン

取扱説明書

もくじ

■安全上のご注意…… 1
■ご使用方法
〈ワイヤードリモコン〉
リモコンスイッチのなまえと働き…… 3
運転のしかた…… 4
タイマー運転のしかた…… 5
タイマーモードの選択…… 5
時刻合わせ…… 6
時間タイマーモード…… 7
時刻切タイマーモード…… 7
時刻入タイマーモード…… 8
ウイークリータイマーモード…… 9
タイマー解除モード……14
静音運転のしかた……15
グリル自動昇降のしかた……16
吸込グリル降下長の設定……17
風向調整のしかた……17
風向設定のしかた……18
快適にお使いいただくために……20
点検表示，フィルタサイン，エアコンNo.，
運転準備中・室温表示について……20
■じょうずな使い方
お手入れのしかた……21
■故障かな？……23
■お知らせ
暖房準備について……24
停電補償について……24
スイッチ操作禁止設定について……24
据え付け・移設・点検整備について……24
運転範囲……24
パッケージエアコンの主な部品の保守・点検ガイドライン…25
保証とアフターサービスについて……30

- **天井埋込形（FDT）**
- **高静圧ダクト形（FDU）**
- **天吊形（FDE）**
- **天吊耐油形（FDES）**



このたびは三菱重工パッケージエアコンをお買い上げいただき，まことにありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき，正しくご使用ください。お読みになったあとは保証書とともに大切に保管してください。万一，ご使用中にわからないことや異常が生じたときっとお役にたちます。

PSA012B801AC
202608

安全上のご注意

■ご使用の前に，この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
■ここに示した注意事項は，「⚠ 警告」，「⚠ 注意」に区分していますが，誤った取り扱いをしたときに，死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいものを特に「⚠ 警告」の欄にまとめて記載しています。しかし，「⚠ 注意」の欄に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので，必ず守ってください。
■絵表示の例


△記号は，危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。


○記号は，禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。


●記号は，行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合はアースを行なってください）が描かれています。

■お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。また，お使いになる方が代わる場合は，必ず本書をお渡しください。

据え付け上の注意事項

⚠ 警告

据え付けは，販売店または専門業者に依頼する。
ご自分で据え付け工事をされ不備があると，水漏れや感電，火災，エアコン落下によるケガの原因になります。

小部屋へ据え付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。限界濃度を超えない対策については，販売店と相談して据え付けする。
万一，冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

別売品は，必ず，当社指定の製品を使用する。また，取り付けは専門業者に依頼する。
ご自分で取り付けをされ，不備があると，水漏れや感電，火災などの原因になります。

冷凍サイクル内に指定冷媒以外を入れない。
漏れによる爆発や火災，冷媒サイクル内の異常高圧による破裂の原因になります。

⚠ 注意

アース（接地）を確実に行う。
アース線は，ガス管，水道管，避雷針，電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不確実な場合は，故障や漏電のときに感電する原因になることがあります。

漏電遮断器を取り付ける。
漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になることがあります。お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わない。
万一ガスが漏れてエアコンの周囲に溜まると，発火の原因になることがあります。

ドレン工事は，確実に排水するように配管する。
不確実な場合は，屋内に浸水し，家財などを濡らす原因になることがあります。

使用上の注意事項

⚠ 警告

長時間冷風を身体に直接あてたり，冷やし過ぎない。
体調悪化・健康障害の原因になります。

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れない。
内部でファンが高速回転しており，ケガの原因になります。

洪水，台風など天災でエアコンが水没した時は，お買い上げの販売店に相談する。
運転をすると，故障や感電，火災などの原因になります。

異常時（こげ臭いなど）は，運転を停止して電源ブレーカーを切り，お買い上げの販売店に相談する。
異常のまま運転を続けると，故障や感電，火災などの原因になります。

エアコンが冷えない，暖まらない場合は冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられるので，お買い上げの販売店に相談する。冷媒の追加を伴う修理の場合は，修理内容をサービスマンに確認する。
エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが，万一，冷媒が室内に漏れ，ファンヒーター，ストーブ，コンロなどの火気に触れると有害な生成物が発生する原因になります。

送風機が停止していても急に運転することがありますので，指や棒などを入れない。
ケガの原因になります。
子供，病気の方など補助を必要とする人が使う場合は，周囲の人が十分注意する。
異常や人感センサー制御などにより空調機が停止した場合，体調不良や事故の原因になることがあります。

⚠ 注意

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途に使用しない。
保存物の品質低下などの原因になることがあります。

濡れた手でスイッチを操作しない。
感電の原因になることがあります。

燃焼器具と一緒に運転するときは，こまめに換気する。
換気が不十分な場合は，酸欠事故の原因になることがあります。

エアコンの風が直接あたる所に燃焼器具を置かない。
燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

長期使用で傷んだままの据付台などを使用しない。
傷んだ状態で放置するとエアコンの落下につながりケガの原因になることがあります。

エアコンを水洗いしたり，花瓶などの水の入った容器を載せたりしない。
感電や発火の原因になることがあります。

動植物に直接風があたる場所には設置しない。
動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。

掃除をする時は必ず運転を停止して，電源ブレーカーを切る。
内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になることがあります。

正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

可燃性スプレーなどをエアコンの近くに置いたりエアコンに直接吹きかけない。
発火の原因になることがあります。

お手入れをする時は必ず運転を停止し，電源ブレーカーを切る。
内部でファンが高速回転していますのでケガの原因になることがあります。

長期間使用しない場合は，電源ブレーカーを切る。
ホコリが溜まると発熱・発火の原因になることがあります。
但し，エアコンを保護するため，運転開始の6時間前に電源ブレーカーを入（ON）にしてください。

エアコンの下にほかの電気製品や家財などを置かない。
水滴が滴下する場合があり，汚損や故障の原因になることがあります。

エアコンのアルミフィンにさわらない。
ケガの原因になることがあります。

室内機内部の洗浄はお客様自身で行わず，必ずお買い上げの販売店またはメーカー指定のお客様相談窓口に相談する。
誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと，樹脂部分が破損したり水漏れなどの原因になることがあります。また，洗浄剤が電気品やモータにかかると故障や発煙・発火の原因になることがあります。

室外機の上に乗ったり，物を載せたりしない。
落下・転倒などによりケガの原因になることがあります。

エアコンの操作やお手入れの時は不安定な台に乗らない。
転倒などケガの原因になることがあります。

雷が鳴り落雷のおそれがあるときは運転を停止し，電源ブレーカーを切る。
被雷すると，故障の原因になることがあります。

エアコンを数シーズン使用した場合は，通常のお手入れとは別に点検整備を行う。
室内機の内部にゴミやホコリがたまって，においが発生したり，ドレン排水の排水経路を詰まらせ室内機からの水漏れの原因になることがあります。点検整備には専門の知識と技術が必要です。お買い上げの販売店に依頼してください。

室外機の周辺に，物を置いたり，落ち葉がたまらないようにする。
落ち葉などがあると，虫などが侵入して，内部の電気部品に触れると，故障や発火・発煙の原因になることがあります。

吸込グリル・吹出グリルを外して使用しない。
ケガの原因になることがあります。

電源ブレーカーによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。また，停電補償が有効に設定されている場合，ファンが突然回り，ケガの原因になることがあります。

スイングルーバが動いているときなどは吹出口に手を触れない。
ケガの原因になることがあります。

リモコン線を引っ張らない。
心線の一部が断線して漏電の原因になることがあります。

室内機及びリモコンの近くで湯沸器等の器具を使用しない。
蒸気を発生する器具を近くで使用しますと，冷房運転時水滴が落ちたり，漏電・短絡の原因になることがあります。

粉・繊維の浮遊する場所で使用しない。
エアフィルタで捕集できない小さな粉がエアコン内部に留まり，漏電・短絡の原因になることがあります。

エアコンの下部には，濡れて困るものは置かない。
湿度 80%以上の時や，ドレン排水が詰まった場合に，室内機から露が滴下し損害が生じる恐れがあります。

シーズン前，シーズン後の注意事項

⚠ 注意

アース線が外れていないか使用シーズン前後に確認する。
アースが不完全の場合，感電の原因になることがあります。

長期使用で据付台などが傷んでいないか注意する。
傷んだ状態で放置するとユニットの落下や転倒につながり，ケガの原因になることがあります。

清掃時の注意事項

⚠ 注意

掃除をするときは必ず運転を停止して，電源スイッチを切る。
内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になることがあります。

エアコンを水洗いしない。
感電の原因になることがあります。

室内機のエアフィルターを取り外す際は，不安定な台に乗って転倒したり，目に埃などがはいらないように注意する。
落下・転倒などによりケガの原因になることがあります。

移設・修理・廃棄時の注意事項

⚠ 警告

改修は絶対にしない。また，修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電，火災などの原因になります。
エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが，万一，冷媒が室内に漏れ，ファンヒータ，ストーブ，コンロ等の火気に触れると，有毒ガスが発生する原因になります。
冷媒漏れの修理の場合は，漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。

エアコンを移動再設置・廃棄する場合は，販売店または専門業者に相談する。
据え付けに不備があると水漏れや感電，火災などの原因になります。

室内機の修理・点検作業に際して「室内機電源ブレーカー」を必ず落とす。
点検・修理にあたって，室内機電源ブレーカーがONのままだと，感電および室内機ファン回転による受傷の原因になります。

フロン排出抑制法に基づく管理のお願い

本製品を管理（所有）されているお客様へ

本製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。
本製品を使用するにあたり，フロン類の漏えいを防止するため，フロン排出抑制法に基づき本製品の管理者（所有者，または使用等を管理する者）は，次のことを守る必要があります。

①機器を設置する時
適切な設置，適正な使用環境を確保すること。

②機器を使用している時
適切な設置，適正な使用環境を維持し，確保すること。
機器の簡易（日常）点検を実施すること。なお，当該機種の圧縮機定格出力が 7.5kW 以上の場合は定期点検も実施すること。
◇簡易点検：定期的な温度および目視による外観の点検です。（3ヶ月に 1 回以上）
異音・異常振動，外観の損傷，腐食，錆び，油のにじみ，霜つき等の漏えいの徴候を確認します。
◇定期点検：機器の専門点検の方法について十分な知見を有する有資格者が行う点検です。（3 年に 1 回以上）
定期点検の委託先および圧縮機の電動機出力については，お買い上げの販売店または弊社窓口へお問合せください。

③フロンの漏えいを発見した時
速やかに漏えい箇所を特定し，修理すること。
機器の修理をせずに充填することは原則禁止。

④点検や修理をした後
点検・整備記録簿に点検・修理・充填・回収に関する履歴を記録し，その記録簿を保存すること。

もし、機器の異常を発見した場合，専門的な点検･整備が必要なため，お買い上げの販売店または弊社窓口にご相談ください。
点検・整備記録簿には，機器を設置したときから廃棄するまでの機器の点検や修理，冷媒の充填・回収等のすべての履歴を記録・保存する必要があります。
冷媒の充填・回収には都道府県に登録された「第一種フロン類充填回収業者」への依頼が必要なため，お買い上げの販売店または弊社窓口へお問合せください。

本製品を設置する工事業者様へ

本製品の据付後，「（冷媒漏えい）点検・整備記録簿」を作成していただき，フロン排出抑制法に基づいて「（冷媒漏えい）点検･整備記録簿」を保管いただくようお客様にご説明ください。

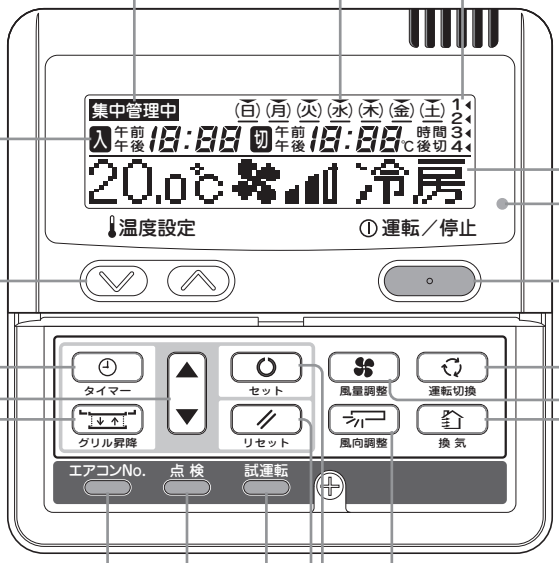
詳細はお買い上げの販売店または弊社窓口へお問合せ，または下記サイトをご覧ください。
フロン排出抑制法の手引き：http://www.jraia.or.jp/index.html
冷媒漏えい　点検・整備記録簿（含む　簡易点検チェックシート）のエクセルシート：http://www.jarac.or.jp/

ご使用方法〈ワイヤードリモコン〉
リモコンスイッチのなまえと働き

ワイヤードリモコン

• 下図はカバーを開けた状態を示します。また，液晶表示部は説明のため全表示内容を記載してあります。
ドット液晶表示部の表示文字は，簡略文字です。

カバーはつまみを手前に引くと下に開きます。



集中管理表示
オプションコントローラで制御しているときに表示します。

タイマー運転表示
タイマー運転の内容を表示します。

温度設定スイッチ
お部屋の温度をセットするスイッチです。

タイマースイッチ
タイマーモードを選択するスイッチです。
☞5ページ

タイマー設定・グリル昇降スイッチ
タイマーモードやタイマー時刻の設定および吸込グリルの昇降をするためのスイッチです。
☞5～17ページ

グリル昇降スイッチ
グリル昇降モードに切り換えるスイッチです。
☞16ページ

エアコンNo.スイッチ
• 接続しているエアコンNo.を表示します。
• 室内機のアドレス設定をするスイッチです。

点検スイッチ
サービス時に使用するスイッチです。

試運転スイッチ
試運転するときに使用するスイッチです。

ウイークリータイマー表示
ウイークリータイマーの設定内容を表示します。

運転内容表示部
設定温度，風量，運転モードおよび操作メッセージを表示します。

運転・点検表示灯
運転中：緑色点灯
異常時：赤色点滅

運転／停止スイッチ
エアコンの運転／停止を行うスイッチです。一度押すと「運転」，もう一度押すと「停止」します。

運転切換スイッチ
運転モードの切り換えを行うスイッチです。

風量調整スイッチ
風量を設定するスイッチです。

換気スイッチ
このスイッチは使いません。

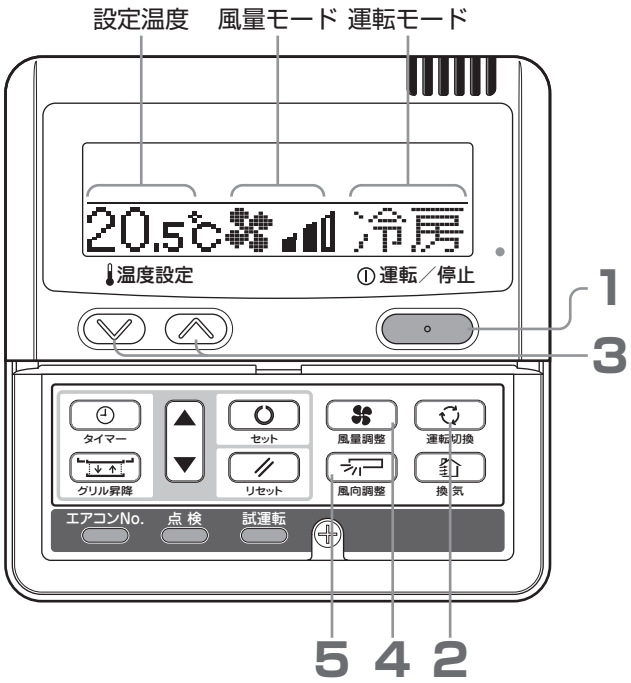
風向調整スイッチ
スイングルーバを作動・停止させるスイッチです。
☞17ページ

セットスイッチ
• 設定を確定するスイッチです。
☞5～19ページ

リセットスイッチ
• 設定の途中で押すと一つ前の操作に戻ります。
☞5～19ページ
• 「フィルター掃除」表示をリセットするスイッチです。
（エアフィルタの掃除をしてから押してください）

運転のしかた　〈ワイヤードリモコン〉

お願い
- エアコンを保護するため**運転開始の6時間前に電源スイッチを入（ON）にしてください。**（クランクケースヒータに通電され，圧縮機を温めます）また，電源スイッチは切らないでください。（圧縮機の停止中にクランクケースヒータに通電し，圧縮機を温めて，液冷媒寝込みによる圧縮機の故障を防止します）



- 運転切換・温度設定・風量調整は停止中でも設定変更できます。停止中にスイッチを押すと該当する表示が点灯しますので，設定を変更してください。表示は，設定変更後3秒間点灯し，自動的に消灯します。

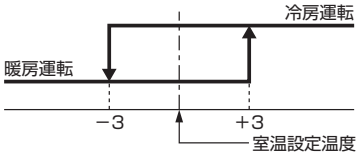
1 運転／停止スイッチを押す

運転を開始します。

2 運転切換スイッチを押す

室内機の機種に合わせて運転モード範囲が表示されます。
スイッチを押すと 冷房→送風→暖房→自動 の順に切り換わります。
（冷暖房兼用機で，自動運転有効の場合の表示例）

- 自動運転は，設定温度と室内空気吸込温度の差により冷房・暖房が自動的に切り換わります。



3 温度設定スイッチを押す

∨または ∧ を押して室温を設定してください。

4 風量調整スイッチを押す

室内機の機種に合わせて風量モード範囲が表示されます。
3速の場合……“ ↔ ↔ ”
2速の場合……“ ↔ ”又は“ ↔ ”
1速の場合……操作無効です

5 風向調整スイッチを押す

室内機にオートスイング機能がある場合は，風向調整スイッチを1回押すと，現在のルーバ状態が表示されます。
室内機にオートスイング機能がない場合は，「操作無効です」と表示されます。

- **ルーバを動かすとき**　☞17，18ページ
  ①風向調整スイッチを押し，表示を「スイング」表示に切換えます。
- **ルーバの停止**　☞17，18ページ
  ①ルーバが動いているときにスイッチを1回押すと，停止位置が順に表示されます。
  ②ご希望の停止位置でもう一度スイッチを押すと，その位置で停止します。

効果的な停止位置　☞17，18ページ
自動運転のとき……中間
冷房運転のとき……水平
暖房運転のとき……下向

停止　運転／停止スイッチを押す

お願い
- 次の場合は運転モードがアンマッチのため，「運転モード無効」を点滅表示し，送風運転になります。
  (1) 冷暖房兼用機と冷房専用機が混在する複数台制御をしていて，運転切換スイッチで暖房にしたとき。
  (2) 冷房・暖房混在運転ができない室外機と接続された室内機同士で運転モードが違った場合。

お知らせ
- 上記のスイッチを押したとき「操作無効です」とされる場合がありますが，故障ではありません。スイッチ操作が無効に設定されております。
- 電源を入れて初めての運転のときは，下記の内容で運転を始めます。お好みに応じて設定変更をしてください。

集中管理中……消灯
運転切換……自動モードがある場合：自動の冷房
　　自動モードがない場合：冷房
設定温度……23.0℃
風量調整……
ルーバ位置……水平

タイマー運転のしかた　〈ワイヤードリモコン〉

タイマーモードの選択



1 タイマースイッチを押す

タイマーモードに入ります。
「現在の曜日」と「現在時刻」が表示されます。

［例］月曜日の午前 10：00 の場合

▼

表示部「日　月　火　水　木　金　土」
「午後　1：00」
「時刻合わせ ▼」（点灯）

2 ▲または▼スイッチを押す

▼スイッチを押すと，下記のタイマーモードを下方向に切り換えます。

「時刻合わせ ▼」（現在時刻を合わせる）
↓
「時間タイマー ◆」（運転の都度，毎回設定した時間後に停止）
↓
「時刻切タイマー ◆」（設定時刻に切）
↓
「時刻入タイマー ◆」（設定時刻に入）
↓
「ウイークリータイマー ◆」（一週間単位でタイマー設定）
↓
「タイマー解除 ▲」（タイマー設定を解除）

▲スイッチを押すと上方向にモードが切り換わります。

リセットスイッチを押すとタイマーモードを終了し，元の状態に戻ります。

3 セットスイッチを押す

タイマーモードが確定します。

各タイマーモードの設定の仕方は次ページ以降をご覧ください。

タイマーモードを組合せて設定することもできます。併用設定可能な組合せは下表の通りです。

併用設定可能な組合せ（○：可，×：不可）

	時間タイマー	時刻切タイマー	時刻入タイマー	ウイークリータイマー
時間タイマー		×	○	×
時刻切タイマー	×		○	×
時刻入タイマー	○	○		×
ウイークリータイマー	×	×	×	

- 併用設定が不可のモードでセットスイッチを押すと，「操作無効です」と3秒間表示し**2**項で選択した表示に戻ります。

■各タイマー運転の作動内容について

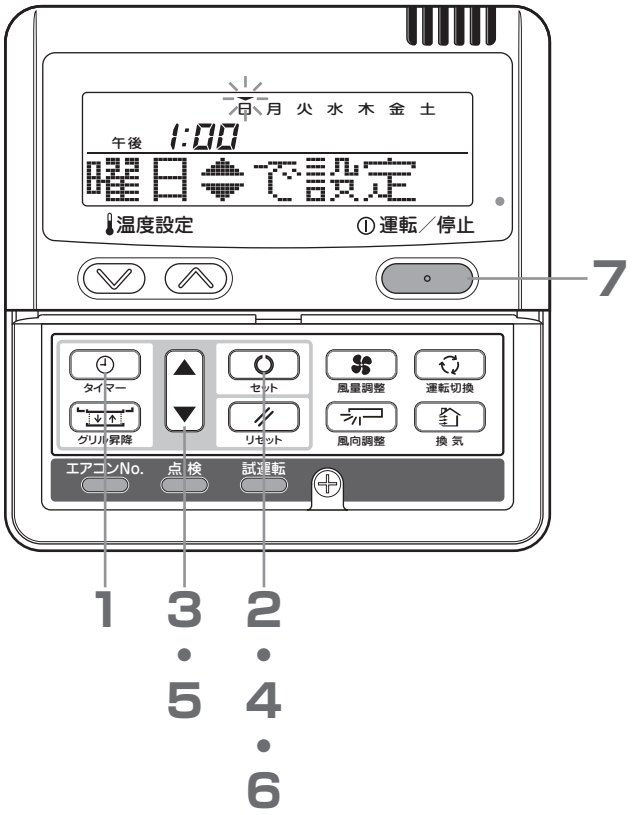
- **時間タイマー**
  セットした時間が経過するとエアコンの運転が停止します。「1時間後切」から「10時間後切」までの10段階での選択が可能です。運転の都度，毎回設定した時間後に停止します。
- **時刻切タイマー**
  セット時刻に運転を停止します。
  時刻切タイマーは，1回の設定で1回のみの作動となります。
- **時刻入タイマー**
  セット時刻に運転を開始します。また，運転開始時の温度設定もできます。
  時刻入タイマーは，1回の設定で1回のみの作動となります。
- **ウイークリータイマー**
  各曜日毎に1日最大4回のタイマー運転（入タイマー・切タイマー）が可能です。
  ウイークリータイマーは，1回の設定で，毎週同一の動作を繰返し行います。

お知らせ

- タイマーモード中に 運転／停止 スイッチを押すと，タイマーモードを終了して元の表示に戻ります。設定が完了していない内容は無効となりますのでご注意ください。
- 時刻入タイマーと時刻切タイマー又は，時間タイマーを併用設定していて，時刻入タイマーと時刻切タイマー又は時間タイマーを同一時刻に設定した場合は，切タイマー（時刻切タイマー又は時間タイマー）が優先されます。
- タイマースイッチを押したとき「操作無効です」と表示された場合はスイッチ操作が無効に設定されておりますので，スイッチ操作はできません。操作を有効にする場合は，お買い上げの販売店にご相談ください。
- タイマースイッチを押してから数分間スイッチ操作をしないと，タイマーモードを終了し，元の状態に戻ります。
- 停電したときは，「時間タイマー」を除き，設定されていたタイマー設定はキャンセルされます。但し，ウイークリータイマー設定は全曜日休日設定の状態で，停電復帰します。

時刻合わせ

タイマー運転は，ここで合わせた時刻が基準になります。現在の時刻を正しく合わせてください。



1 タイマースイッチを押す

タイマーモードに入ります。
「現在の曜日」と「現在時刻」が表示されます。

▼

表示部「日　月　火　水　木　金　土」
「午後　1：00」
「時刻合わせ ▼」

2 セットスイッチを押す

▼

表示部に「　日　月　火　水　木　金　土　」（▼は点滅）
「午後　1：00」（現在時刻）
「曜日 ◆ で設定」
と表示します。

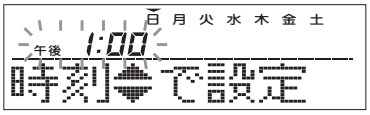
3 ▲または▼スイッチを押す

曜日の上の▼印を今日の曜日に合わせてください。

▲を押すと右側に移動し，▼を押すと左側に移動します。
リセットスイッチを押すと**1**項に戻り「時刻合わせ ▼」を表示します。

4 セットスイッチを押す

曜日が確定し▼の点滅が点灯に変わります。
入タイマー表示部に「現在時刻」が点滅表示し，表示部には
「時刻 ◆ で設定」が表示されます。



5 ▲または▼スイッチを押す

現在の時刻に合わせてください。

リセットスイッチを押すと**1**項に戻ります。

6 セットスイッチを押す

時刻表示の点滅が点灯に変わり，「時刻完了」と表示され現在時刻がセットされます。
2秒後に**1**項に戻り，「時刻合わせ ▼」を表示します。

7 運転／停止スイッチを押す

タイマーモードを終了します。

お知らせ

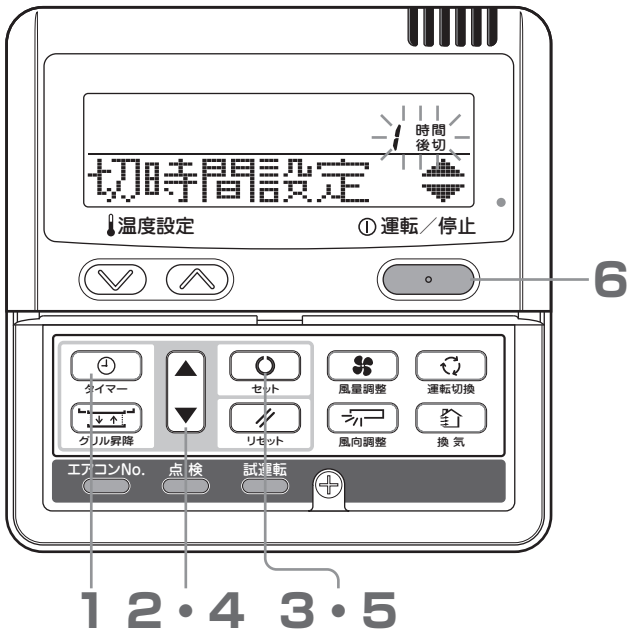
- 設定の途中で［運転／停止］スイッチを押すと，タイマーモードを終了し，元の表示に戻ります。但し，設定が完了していない内容は無効となりますのでご注意ください。
- タイマーモードに入ってから数分間スイッチ操作をしないと，タイマーモードを終了し，元の状態に戻ります。

タイマー運転のしかた　〈ワイヤードリモコン〉

時間タイマーモード

セットした時間が経過するとエアコンの運転が停止します。

- 時間タイマー
  1回の設定で，運転の都度，毎回設定した時間後に停止します。



お知らせ

- 設定の途中で 運転／停止 スイッチを押してもタイマーモードを終了し，元の表示に戻ります。
- タイマーモードに入ってから数分間スイッチ操作をしないと，タイマーモードを終了し，元の状態に戻ります。

1 タイマースイッチを押す

2 ▼スイッチを1回押す

「時刻合わせ ▼」→「時間タイマー ◆」

3 セットスイッチを押す

[例]「1時間後切」が点滅し，
「切時間設定 ◆」が点灯します。

4 ▲または▼スイッチを押す

「1時間後切」⇔「2時間後切」～「9時間後切」⇔「10時間後切」の順に切り換わります。ご希望の時間をセットしてください。

5 セットスイッチを押す

時間タイマーがセットされました。
エアコンが停止中に時間タイマーのセットをした場合は，運転を開始します。
表示部は次のように「切時間完了」の表示が出たあと，**2**項に戻ります。

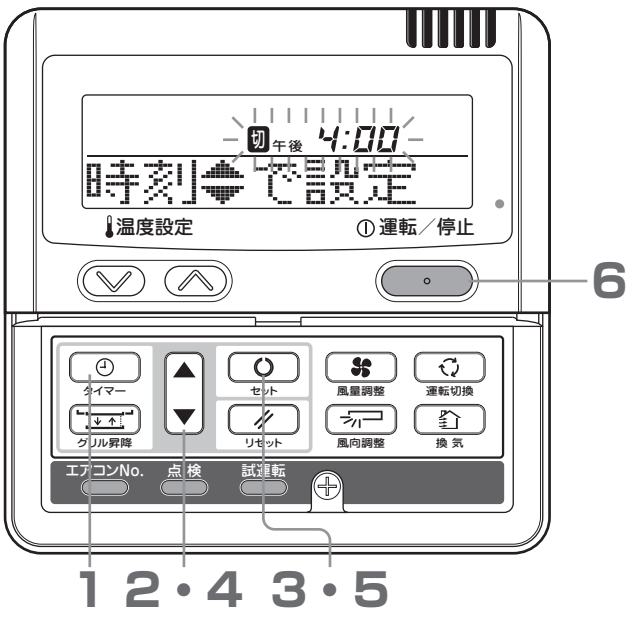
〈10時間後切にセットした場合〉
「10時間後切」（点灯）
「切時間完了」（2秒間点灯）
↓
「10時間後切」（点灯）
「時間タイマー ◆」（点灯）

設定後は時間の経過とともに，1時間単位で残り時間が表示されます。
設定時間が経過するとエアコンの運転が停止します。
1回の設定で，運転の都度，毎回設定した時間後に停止します。

6 運転／停止スイッチを押す　タイマーモードを終了します。

時刻切タイマーモード

セット時刻に運転を停止します。
1 回の設定で 1 回のみの作動となります。



お 願 い　時刻切タイマーのセットと同時にエアコンの運転を開始する場合は，タイマーのセットをする前にエアコンを運転してください。

お知らせ

- 設定の途中で 運転／停止 スイッチを押してもタイマーモードを終了し，元の表示に戻ります。
- タイマーモードに入ってから数分間スイッチ操作をしないと，タイマーモードを終了し，元の状態に戻ります。

1 タイマースイッチを押す

2 ▼スイッチを2回押す

「時刻合わせ ▼」→「時間タイマー ◆」→「時刻切タイマー ◆」

3 セットスイッチを押す

[例]「切」「午後」「4：00」が点滅し，
「時刻 ◆ で設定」が点灯します。

4 ▲または▼スイッチを押す

運転を停止したい時刻をセットしてください。

- 「時」を合わせる
  ▲または▼スイッチを長く押し続けると「時」表示が1時間単位で切り換わり，離すと止まります。
- 「分」を合わせる
  ▲または▼スイッチを押すと10分ずつ表示が加減します。

5 セットスイッチを押す

時刻切タイマーがセットされました。
表示部は次のように「切時刻完了」の表示が出たあと，**2**項に戻ります。

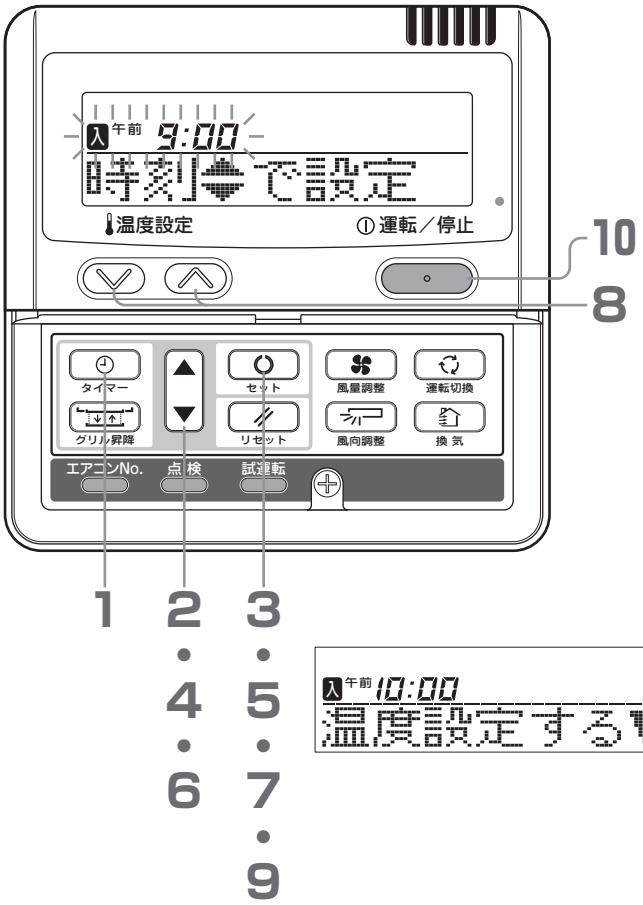
〈午後6時にセットした場合〉
「切」「午後」「6：00」（点灯）
「切時刻完了」（2秒間点灯）
↓
「切」「午後」「6：00」（点灯）
「時刻切タイマー ◆ 」（点灯）

午後 6 時になるとエアコンの運転が停止します。
時刻表示も消灯します。

6 運転／停止スイッチを押す　タイマーモードを終了します。

時刻入タイマーモード

セット時刻に運転を開始します。また，運転開始時の温度設定もできます。
1 回の設定で 1 回のみの作動となります。





1 タイマースイッチを押す

2 ▼スイッチを3回押す

「時刻合わせ ▼」→「時間タイマー ◆」→「時刻切タイマー ◆」→「時刻入タイマー ◆」

3 セットスイッチを押す

[例]「入」「午前」「9：00」が点滅し，
「時刻 ◆ で設定」が点灯します。

4 ▲または▼スイッチを押す

運転を開始したい時刻をセットしてください。

- **「時」を合わせる**
  ▲または▼スイッチを長く押し続けると「時」表示が1時間単位で切り換わり，離すと止まります。
- **「分」を合わせる**
  ▲または▼スイッチを押すと 10分ずつ表示が加減します。

5 セットスイッチを押す

時刻入タイマーがセットされました。

表示部は左記の表示が出ます。
〈午前 10時にセットした場合〉
「入」「午前」「10：00」（点灯）
「温度設定する ▼」（点灯）
リセットスイッチを押すと**3**項に戻ります。（設定後の時刻を表示します）

6 ▼または▲スイッチを押す

▼スイッチを押すと「温度設定なし ▲」
▲スイッチを押すと「温度設定する ▼」
が表示されます。
いずれかを選択してください。

- 温度設定する場合は引き続き**7**項に進んでください。
- 温度設定をしない場合は**9**項に進んでください。

7 セットスイッチを押す

表示部には左記の表示が出ます。

〈午前10時にセットした場合〉
「入」「午前」「10：00」（点灯）
「27℃」（現在の設定温度を表示し，点滅します）
「∨ ∧で設定」（点灯）

8 温度設定∨または∧スイッチを押す

∨または∧スイッチを押すと1℃ずつ表示が加減します。
運転開始時の温度を設定してください。
リセットスイッチを押すと**5**項に戻ります。

9 セットスイッチを押す

時刻入タイマーがセットされ，表示部は次のように「入時刻完了」の表示が出た後，**2**項に戻ります。

〈午前10時にセットした場合〉
「入」「午前」「10：00」「27℃（温度設定をした場合）」（点灯）
「入時刻完了」（2 秒間点灯）
↓
「入」「午前」「10：00」「27℃（温度設定をした場合）」（点灯）
「時刻入タイマー ◆」（点灯）
設定時刻になるとエアコンの運転を設定温度で開始します。
時刻表示も消灯します。

10 運転／停止スイッチを押す

タイマーモードを終了します。

お知らせ

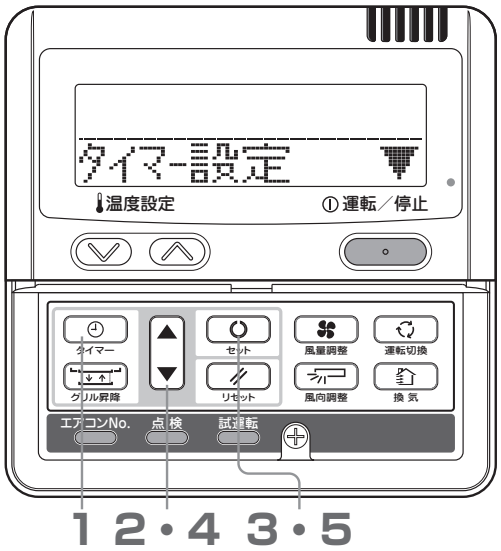
- 設定の途中で 運転／停止 スイッチを押してもタイマーモードを終了し，元の表示に戻ります。
- タイマーモードに入ってから数分間スイッチ操作をしないと，タイマーモードを終了し，元の状態に戻ります。

- 時刻入タイマーと，時間タイマー又は時刻切タイマーが併用設定している場合は，時刻入タイマーの温度表示はしません。
- 時刻入タイマーと，時間タイマー又は時刻切タイマーが同時刻に設定された場合は，切タイマー（時刻切タイマー又は時間タイマー）が優先されます。

ウイークリータイマーモード

■ウイークリータイマーモードの選択

各曜日ごとに1日4回までの入タイマー又は切タイマー運転ができます。
入タイマーまたは切りタイマーのみで4回のタイマー設定もできます。
（注）ウイークリータイマーをご使用中は，1ヶ月毎に時刻合わせをしてください。



1 タイマースイッチを押す

2 ▼スイッチを4回押す

「時刻合わせ ▼」→「時間タイマー ◆」→「時刻切タイマー ◆」→「時刻入タイマー ◆」→「ウイークリータイマー ◆」

3 セットスイッチを押す

表示部に「タイマー設定 ▼」が表示されます。

4 ▼スイッチを押す

下記のモードを下方向に切り換えます。

「タイマー設定 ▼」（タイマーの設定をします）
↓
「休日設定 ◆」（設定した曜日を休日にします）
↓
「確認／解除 ▲」（タイマー設定を確認し，1回ごとに解除できます）

▲スイッチを押すと上方向にモードが切り換わります。

いずれかのモードを選択してください。

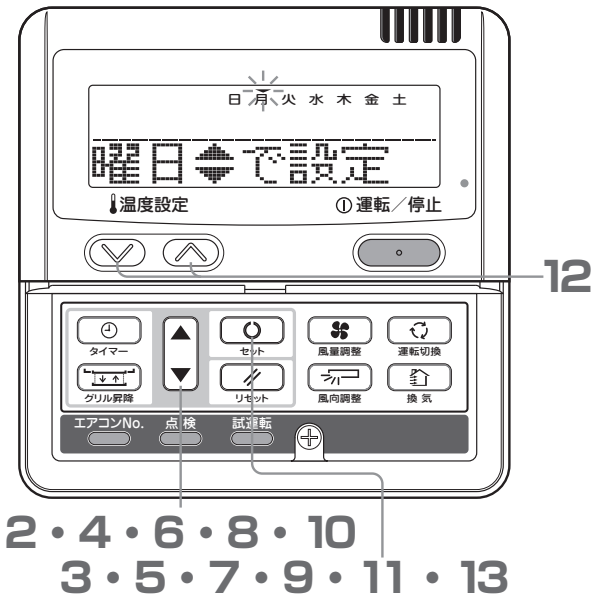
5 セットスイッチを押す

選択したモードが確定します。

お知らせ

- 設定の途中または設定終了時に 運転／停止 スイッチを押すとタイマーモードを終了し，元の表示に戻ります。
- タイマーモードに入ってから数分間スイッチ操作をしないと，タイマーモードを終了し，元の状態に戻ります。

■ウイークリータイマー設定



1 ウイークリータイマーモードを「タイマー設定 ◆」に選択・確定する　☞上記ウイークリータイマーモードの選択 1～5項

▼

表示部に「 日 月 火 水 木 金 土 」（▼は点滅）
「曜日 ◆ で設定」
と表示します。

2 ▲または▼スイッチを押す

曜日の上の▼印をタイマー設定する曜日に合わせてください。
▲を押すと点滅しながら右側に移動し，▼を押すと左側に移動します。
▲スイッチを押していくと，「月～金」又は「日～土」（毎日）の上の▼印が一度に点滅しますので，「月～金」又は「日～土」（毎日）を同一の設定にする場合は，それを選んでください。
リセットスイッチを押すとウイークリータイマーモード選択画面に戻り，「タイマー設定 ▼」が表示されます。　☞上記 3項

3 セットスイッチを押す

曜日の上の▼が点灯に変わり，曜日が確定します。
「No. ◆ で設定」が表示され，左記の表示になります。

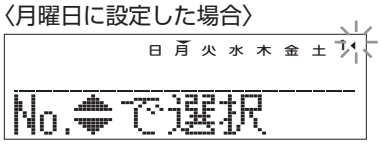
4 ▲または▼スイッチを押す

選択した曜日ごとに，最大4回までのタイマー動作が可能です。設定するタイマー番号を選択してください。1 回の設定で，入タイマー又は切タイマーのどちらか一方を設定してください。（左例参照）
▼を押すと番号の横の◀印が点滅しながら下に移動し，
▲を押すと上に移動します。

1◀
2
3
4

リセットスイッチを押すと1項の表示に戻ります。

〈月曜日に設定した場合〉



[例]
1 番目　入午前 9:00
2 番目　切午後 0:00
3 番目　入午後 1:00
4 番目　切午後 5:00
※入タイマー又は切タイマーのみで4回の設定も可能です。



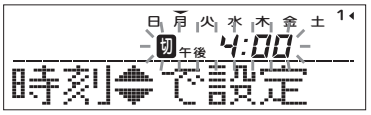
5 セットスイッチを押す

番号の横の◀印が点灯に変わります。
「時刻入タイマー ▼」又は「時刻切タイマー ▲」が表示されます。
ここまでの設定が確定し，左記の表示になります。

6 ▲または▼スイッチを押す

▼スイッチを押すと「時刻切タイマー ▲」
▲スイッチを押すと「時刻入タイマー ▼」が表示されます。
設定する方を選んでください。
リセットスイッチを押すと**3**項の表示に戻ります。

〈「時刻切タイマー ▲」を選んだ場合〉



7 セットスイッチを押す

「時刻 ◆ で設定」が表示されます。

8 ▲または▼スイッチを押す

時刻を設定してください。

リセットスイッチを押すと**5**項の表示に戻ります。

9 セットスイッチを押す

時刻表示が点灯に変わり，設定内容が確定します。

時刻切タイマーの設定をした場合は№1の設定が完了です。
▼ ▼
設定した曜日の下に「_」が点灯（月→月）し，左記の表示が出ます。
11ページの「**■次の設定とウイークリータイマーモードの終了**」に進んでください。

時刻入タイマーの設定をした場合は，「温度設定する ▼」表示が出ますので10項に進んでください。



10 ▲または▼スイッチを押す

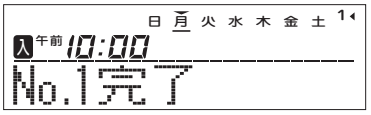
「温度設定する ▼」または「温度設定なし ▲」のいずれかを選択してください。



11 セットスイッチを押す

「温度設定なし ▲」を選択した場合は1番目の設定が完了です。
▼ ▼
設定した曜日の下に「_」が点灯（月→月）し，左記の表示が出ます。
11ページの「**■次の設定とウイークリータイマーモードの終了**」に進んでください。

「温度設定する▼」を選択した場合は「∨ ∧で設定」と表示されますので，12項に進んでください。



12 温度設定∧または∨スイッチを押す

∨または∧スイッチを押すと1℃ずつ表示が加減します。
運転開始時の温度を設定してください。
リセットスイッチを押すと「温度設定する ▼」表示に戻ります。



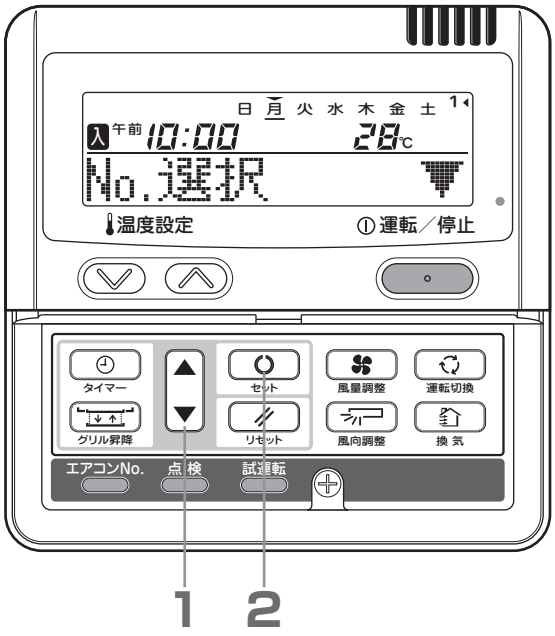
13 セットスイッチを押す

1番目の設定が完了です。 ▼ ▼
温度の点滅が点灯に変わり，設定した曜日の下に「_」が点灯（月→月）し，左記の表示が出ます。
11ページの「**■次の設定とウイークリータイマーモードの終了**」に進んでください。



■次の設定とウイークリータイマーモードの終了

「次設定選択 ◆ 」の表示が出た後，「No.選択 ▼」と表示されます。



1 ▲または▼スイッチを押す

▼スイッチを押すと下記内容を下方向に切り換えます。

「No.選択 ▼」（同じ曜日の次のタイマー番号を選択）

↓

「曜日選択 ◆」（次の曜日を選択）

↓

「終了　▲」（タイマーモードの終了）

▲スイッチを押すと上方向に切り換わります。

いずれかを選択してください。

2 セットスイッチを押す

「No.選択 ▼」を選択した場合は「No. ◆ で選択」表示になります。
9ページ ウイークリータイマー設定**3**項以降を繰り返してください。

「曜日選択 ◆」を選択した場合は「曜日 ◆ で設定」表示になります。
9ページ ウイークリータイマー設定**1**項以降を繰り返してください。

「終了 ▲」を選択した場合はタイマーモードを終了します。

お知らせ

- 設定の途中または設定終了時に 運転／停止 スイッチを押すとタイマーモードを終了し，元の表示に戻ります。
- タイマーモードに入ってから数分間スイッチ操作をしないと，タイマーモードを終了し，元の状態に戻ります。

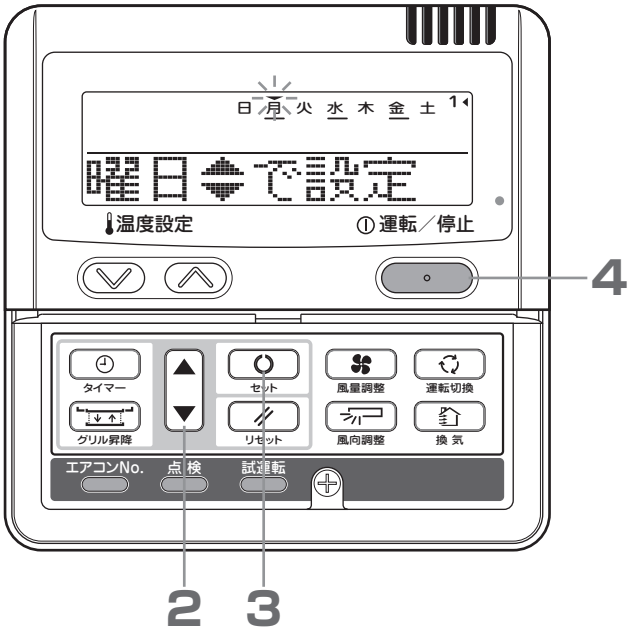
- 曜日選択で，既に設定してある曜日を再度選択した場合は，番号表示は設定されている全てが表示されますが，タイマー内容は番号の横に「◀」印がある番号の設定内容が表示されます。このとき，設定をしなおすと新しい設定に変更されます。
- 同じ日に入時刻と切時刻を同一時刻に設定した場合は，時刻切タイマーとなります。
- 同じ日に入時刻が同一時刻に設定された場合は，No.が若い方が優先されます。

■ウイークリータイマー設定後の表示

- 設定されている曜日にアンダーラインが付きます。
- 当日の曜日の上に▼印が表示されます。
- 当日に設定しているタイマー番号は全て点灯し，次に作動する設定番号に◀印が付き，設定時刻が表示されます。
- 設定番号および設定時刻は順次切り換わり，当日のタイマーが全て作動し終わったら，設定番号および時刻表示は消灯します。

■ウイークリータイマー休日設定

設定したタイマー設定を，曜日ごとに一時的に「無効」にする設定ができます。休日設定を解除すれば，再び，設定が有効となります。



1 ウイークリータイマーモードを「休日設定 ◆」に選択・確定する

☞9ページ ウイークリータイマーモードの選択 1〜5項

▼

表示部に「 日 月 火 水 木 金 土 」(▼は点滅)
「曜日 ◆ で設定」
と表示します。

2 ▲または▼スイッチを押す

曜日の上の▼印をタイマー休日設定する曜日に合わせてください。

▲を押すと点滅しながら右側に移動し，▼を押すと左側に移動します。

▲スイッチを押していくと，「月〜金」又は「日〜土」(毎日) の上の▼印が一度に点滅しますので，「月〜金」又は「日〜土」(毎日) の設定を一度に休日にする場合は，それを選んでください。

リセットスイッチを押すとウイークリータイマーモード選択画面に戻り，「休日設定 ◆」が表示されます。

3 セットスイッチを押す

曜日の上の▼が点灯に変わり，休日曜日の ( ) が点灯し，下記の表示が出ます。休日設定完了後，1項に戻ります。続けて，休日設定する場合は，2〜3項を繰り返してください。

▼
「 日 (月) 火 水 木 金 土 」(点灯)
「休日設定完了」(2 秒間点灯)
↓
▼
「 日 (月) 火 水 木 金 土 」(点灯)
「曜日 ◆ で設定」(点灯)

お知らせ

タイマーの設定をしていない曜日を選択した場合は「設定なし」を2秒間点灯したあと，1項の表示に戻ります。

4 運転／停止スイッチを押す

タイマーモードを終了します。

■休日設定の解除

1 ウイークリータイマーモードを「休日設定 ◆」に選択・確定する

☞9ページ ウイークリータイマーモードの選択 1〜5項

2 ▲または▼スイッチを押す

曜日の上の▼印をタイマー休日解除する曜日に合わせてください。

一旦休日に設定した曜日を選択してください。

3 セットスイッチを押す

( ) 表示が消灯し，下記の表示になります。休日解除完了後，1項に戻ります。続けて，休日解除設定する場合は，2〜3項を繰り返してください。

▼
「 日 月 火 水 木 金 土 」(点灯)
「休日解除」(2秒間点灯)
↓
▼
「 日 月 火 水 木 金 土 」(点灯)
「曜日 ◆ で設定」(点灯)

4 運転／停止スイッチを押す

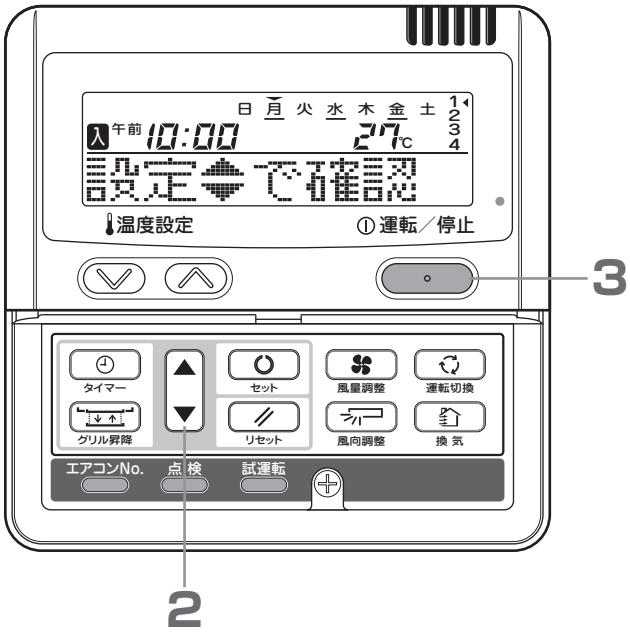
タイマーモードを終了します。

お知らせ

- 設定の途中または設定終了時に 運転／停止 スイッチを押すとタイマーモードを終了し，元の表示に戻ります。
- タイマーモードに入ってから数分間スイッチ操作をしないと，タイマーモードを終了し，元の状態に戻ります。

タイマー運転のしかた　〈ワイヤードリモコン〉

■ウイークリータイマーの設定確認



1 ウイークリータイマーモードを「確認／解除 ▲」に選択・確定する

☞9ページ ウイークリータイマーモードの選択 1〜5項

左記表示となり，設定してある曜日の，最も早い設定番号の設定内容を表示します。（但し，設定がない場合，「設定なし」という表示がでます。）

2 ▲または▼スイッチを押す

設定してある内容が曜日および設定番号順に表示されます。

▼スイッチを押すと，曜日は日曜日から順に表示し，設定番号の若い順に表示されます。

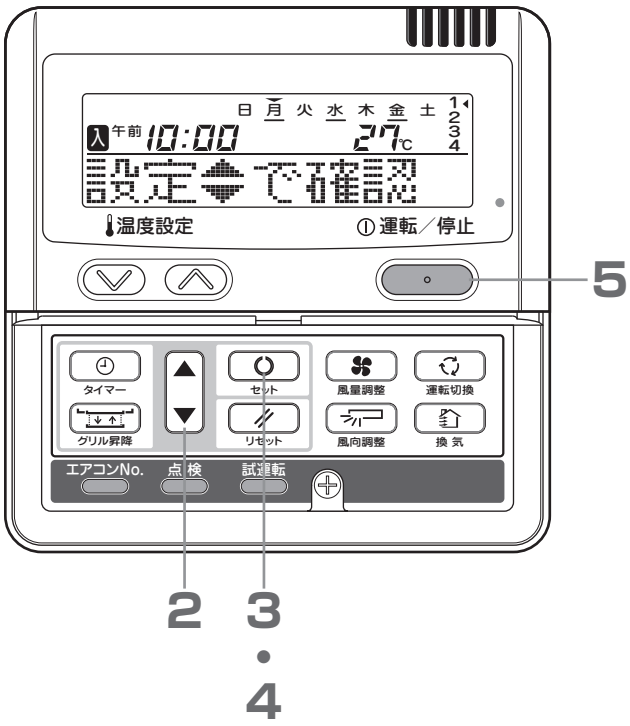
▲スイッチを押すと逆の順に表示します。

3 運転／停止スイッチを押す

タイマーモードを終了します。

■ウイークリータイマーの解除

ウイークリータイマー設定の，各曜日および設定番号ごとに解除することができます。
全曜日すべてを一括解除する場合は，「タイマー解除モード」14ページをご覧ください。



1 ウイークリータイマーモードを「確認／解除 ▲」に選択・確定する

☞9ページ ウイークリータイマーモードの選択 1〜5項

左記表示となり，設定してある曜日の，最も早い設定番号の設定内容を表示します。

2 ▲または▼スイッチを押す

設定してある内容が曜日および設定番号順に表示されます。

▼スイッチを押すと，曜日は日曜日から順に表示し，設定番号の若い順に表示されます。

▲スイッチを押すと逆の順に表示します。

ウイークリータイマーを解除する曜日と設定番号を選択してください。

リセットスイッチを押すと「確認／解除 ▲」表示に戻ります。

3 セットスイッチを押す

「解除しますか？」と表示されます。

リセットスイッチを押すと1回前の画面に戻り，「設定 ◆ で確認」を表示します。

4 セットスイッチを押す

「解除しました」と表示され，表示していた設定が消えて，解除されます。

↓

「設定 ◆ で確認」表示に戻ります。

続けて，解除する場合は，2〜4項を繰り返してください。

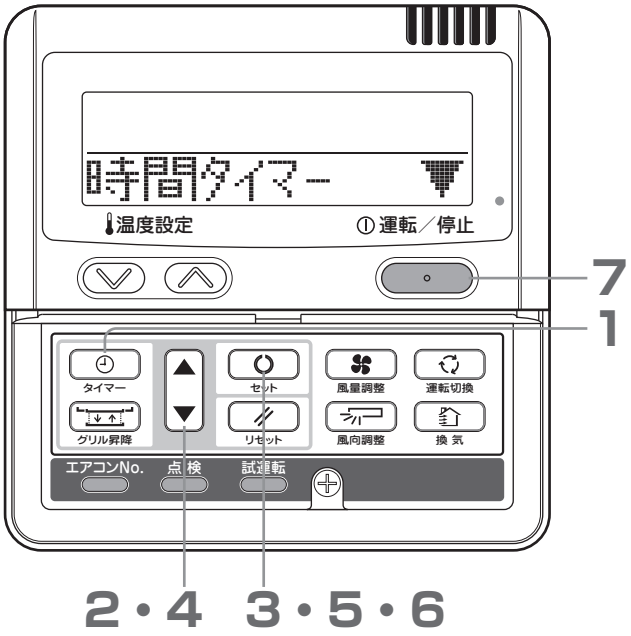
5 運転／停止スイッチを押す

タイマーモードを終了します。

お知らせ

- 設定の途中または設定終了時に［運転／停止］スイッチを押すとタイマーモードを終了し，元の表示に戻ります。
- タイマーモードに入ってから数分間スイッチ操作をしないと，タイマーモードを終了し，元の状態に戻ります。

タイマー解除モード



1 タイマースイッチを押す

タイマーモードに入ります。
「現在の曜日」と「現在時刻」が表示されます。

▼

表示部「日　月　火　水　木　金　土」
「午後　1：00」
「時刻合わせ ▼」

2 ▼スイッチを5回押す

「時刻合わせ ▼」
↓
「時間タイマー ◆」　（▼ 1回）
↓
「時刻切タイマー ◆」　（▼ 2回）
↓
「時刻入タイマー ◆」　（▼ 3回）
↓
「ウイークリータイマー ◆」（▼ 4回）
↓
「タイマー解除 ◆」　（▼ 5回）

3 セットスイッチを押す

タイマー解除モードに入ります。

4 ▲または▼スイッチを押す

解除したいモードを選びます。
▼スイッチを押すと下記のタイマーモードが下方向に切り換わります。

「時間タイマー ▼」
↕
「時刻切タイマー ◆」
↕
「時刻入タイマー ◆」
↕
「ウイークリータイマー ▲」（全曜日の解除）

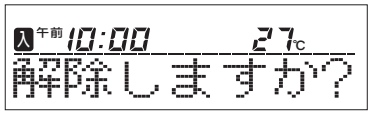
▲スイッチを押すと上方向に表示が切り換わります。
リセットスイッチを押すとタイマーモード選択画面に戻り，
「タイマー解除 ▲」が表示されます。　（上記　2項）

「時間タイマー ▼」「時刻切タイマー◆ 」「時刻入タイマー ◆」を選択した場合

5 セットスイッチを押す

選択したタイマーモードの内容が，下記のように表示されます。
（但し，設定がない場合，「設定なし」という表示がでます。）

〈「時刻入タイマー ◆」を選んだ場合の表示例〉



解除を止める場合は，リセットスイッチを押すと「時刻入タイマー ◆」表示に戻ります。（上記　4項）

6 セットスイッチを押す

タイマー表示部が消灯し「解除しました」と2秒間点灯後
「時間タイマー ▼」表示に戻ります。（上記　4項）
続けて，解除する場合は，4～6項を繰り返してください。

お知らせ

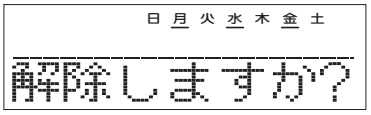
- 設定の途中または設定終了時に 運転／停止 スイッチを押すとタイマーモードを終了し，元の表示に戻ります。
- タイマーモードに入ってから数分間スイッチ操作をしないと，タイマーモードを終了し，元の状態に戻ります。

「ウイークリータイマー ▲」を選択した場合

下記操作で，全曜日の設定が解除されます。
各曜日の設定ごとに解除する場合は，「■ウイークリータイマーの解除」13ページをご覧ください。

5 セットスイッチを押す

下記の表示になります。
（但し，設定がない場合，「設定なし」という表示がでます。）



解除を止める場合は，リセットスイッチを押すと「ウイークリータイマー ▲」表示に戻ります。（上記　4項）

6 セットスイッチを押す

曜日表示部が消灯し「解除しました」と2秒間点灯後
「時間タイマー ▼」表示に戻ります。（上記　4項）
この操作で全曜日の設定が解除されます。

7 運転／停止スイッチを押す

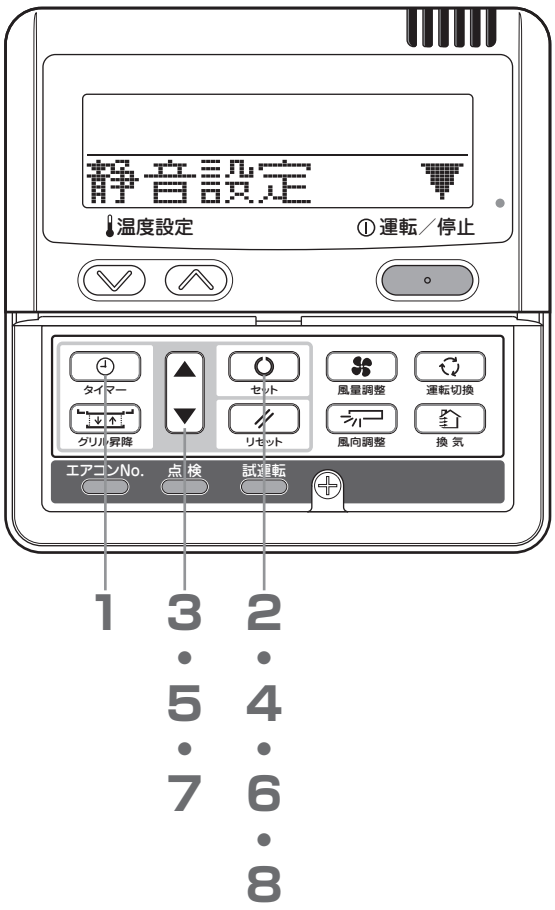
タイマーモードを終了します。

静音運転のしかた　〈ワイヤードリモコン〉

静音モード

静音モードの設定により，室外機の騒音を抑える静音運転を行います。
設定した入時刻に静音運転を開始し，設定時間経過後に静音運転を解除します。
静音モードに設定すると，静音モードを解除するまで，毎日同一時刻に静音運転・停止を繰り返します。

■静音モードの設定



1 タイマーモードで現在曜日と現在時刻を合わせる

☞6ページ　1～7項

2 セットスイッチを3秒以上押す

静音モードに入り，表示部に下記の表示が出ます。

「静音設定 ▼」または「静音解除 ▲」（点灯）

3 ▲または▼スイッチを押す

▼スイッチを押すと「静音解除 ▲」
▲スイッチを押すと「静音設定 ▼」が表示されます。
「静音設定 ▼」を選択してください。

リセットスイッチを押すと元の表示に戻ります。

4 セットスイッチを押す

下記の設定表示が出ます。

「入」「午後」「5：00」（点滅）
「時刻 ◆ で設定」（点灯）



5 ▲または▼スイッチを押す

入時刻を設定してください。

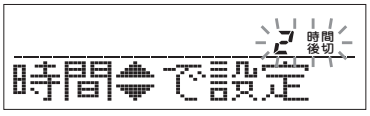
- 「時」を合わせる
  ▲または▼スイッチを長く押し続けると「時」表示が1時間単位で切り換わり，離すと止まります。
- 「分」を合わせる
  ▲または▼スイッチを押すと10分ずつ表示が加減します。

リセットスイッチを押すと「静音設定 ▼」表示に戻ります。

6 セットスイッチを押す

入時刻が確定し，下記の表示が出ます。

「入」「午後」「5：00」（点滅）
「入時刻完了」（2秒間点灯）
↓
「2時間後切」（点滅）
「時間 ◆ で設定」（点灯）



7 ▲または▼スイッチを押す

切時間を選択してください。

▲を押すと2時間ずつ設定時間が増え，
「2時間後切」→「4時間後切」→…「22時間後切」→「24時間後切」の順に切り換わります。
▼を押すと2時間ずつ減っていきます。
リセットスイッチを押すと「入時刻設定」表示に戻ります。

8 セットスイッチを押す

設定内容が確定し，セット内容が表示されます。
「設定完了」と表示され，静音設定を終了します。
設定表示は消灯し，元の表示に戻ります。

■静音モード（設定）の解除
2項で「静音解除 ▲」を選択し，セットスイッチを押すと静音設定を解除し，静音モードを終了します。
「解除しました」と表示されます。

お知らせ

- リモコンが親子接続されている場合，子リモコンでは，静音モード設定の操作はできません。
- 静音モードに設定した後，設定時刻になると次の表示が3秒間出たあと，元の表示に戻ります。
  入時刻になったとき：「静音モード」
  切時間になったとき：「静音モード終了」
- 「24時間後切」を選択すると，静音解除されるまで，静音モードを継続することができます。表示は，最初の入時刻に「静音モード」の表示が3秒間出たあと，元の表示に戻ります。

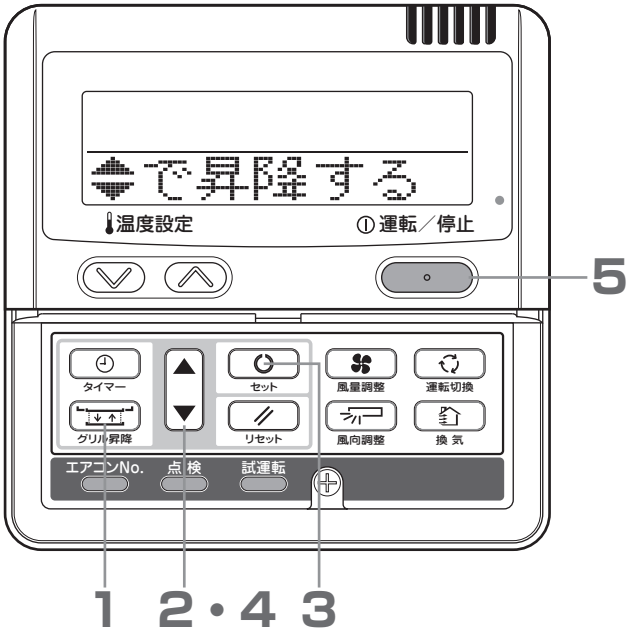
- 設定の途中で 運転／停止 スイッチを押すと静音モードを終了し，元の表示に戻ります。設定が完了していない場合は，無効となりますので，ご注意ください。

グリル自動昇降のしかた（ラクリーナパネルを使用の場合）〈ワイヤードリモコン〉

⚠ 注意　**操作をするときは，吸込グリル動作範囲内に人がいないこと，物が無いことを確認のうえ行ってください。**
吸込グリルがあたるとケガをしたり，物が破損する原因になることがあります。

⚠ 注意　**吸込グリル動作中に，吸込グリルやワイヤなどに触れないでください。**
吸込グリルがぶつかったり，ワイヤが巻きついたりしてケガの原因になることがあります。

⚠ 注意　**ワイヤは折り曲げたり，タバコなどの火を触れないでください。**
ワイヤ断線により，吸込グリルやエアフィルタが落下し，ケガの原因になることがあります。



グリル昇降スイッチを押したときに「操作無効です」という表示がでる場合がありますが故障ではありません。ラクリーナパネルを使用していない場合は，本表示がでます。

操作の途中で 運転／停止 スイッチを押すとグリル昇降モードを終了し，元の表示に戻ります。

お 願 い

- 吸込グリル降下中以外のときに子リモコンまたはセンターコンソールなどのオプションから運転操作をした場合，そのエアコンは運転になりますのでご注意ください。（リモコン表示は変わりません）
- 停止中に吸込グリルを無理に引き下げないでください。モータやワイヤ破損の原因になることがあります。
- 暖房時，上記**1**項のグリル昇降スイッチを押した場合，約40秒間室内送風機が回り続けることがありますのでご注意ください。

お知らせ

- リモコンが親子接続されている場合，子リモコンでは，グリル昇降操作はできません。
- グリル昇降モード中は次のスイッチ以外は操作無効です。「グリル昇降」「▲▼」「セット」「リセット」「運転／停止」「エアコンNo.」
- 吸込グリルが所定の位置に停止したときワイヤ（2本）が最大8cmぐらいたるみ，吸込グリルが傾くことがありますが，収納時に自動補正します。
- 収納位置を補正するときに大きな音がしますが，故障ではありません。
- 天井埋込形FDTタイプにおいて，グリルが障害物等に乗り上げてワイヤが緩んでいる場合，ワイヤの絡まり防止のためグリルが昇降しません。グリルが昇降しない場合，ワイヤが緩んでいる可能性がありますので，障害物等を取り除きワイヤが張った状態にして，再度▲または▼スイッチを押してください。

1 グリル昇降スイッチを押す

リモコンに接続されている室内機が1台の場合，次の表示をします。
4項へ進んでください。



運転中のエアコンは自動的に停止します。
センターモードで運転中のエアコンはグリル昇降操作（▲▼スイッチ操作）で停止します。

リモコンに接続されている室内機が複数の場合，下記の表示がでます。
グリル昇降させる室内機を選択します。**2**項へ進んでください。

「室内機選択 ◆ 」（1秒間）
↓
「内　000 ▲」（点滅）

2 ▲または▼スイッチを押す

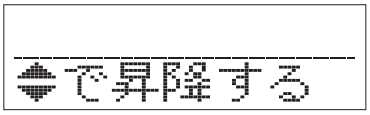
グリル昇降させる室内機を選択してください。

[例]
「内　000 ▲」⇔「内　001 ◆」⇔「内　002 ◆」⇔
「内　002の1 ◆」⇔「内　002の2 ◆」⇔「全台 ▼」

接続室内機全台を同時に昇降する場合は，「全台 ▼」を選択してください。

3 セットスイッチを1回押す

選択した室内機が確定し，次の表示をします。
「内　001」（選択した室内機No.を2秒間表示）
↓
「 ◆ で昇降する」



※この状態で，もう1度セットスイッチを押すと，次ページの降下長設定モードとなります。降下長を設定しない場合は，リセットスイッチを1回押すと，上記表示にもどります。

4 ▼スイッチを押す

▼を押すと吸込グリルが所定の位置まで降下して，自動的に停止します。
降下を途中で止めるときは▲を押してください。

吸込グリルの収納

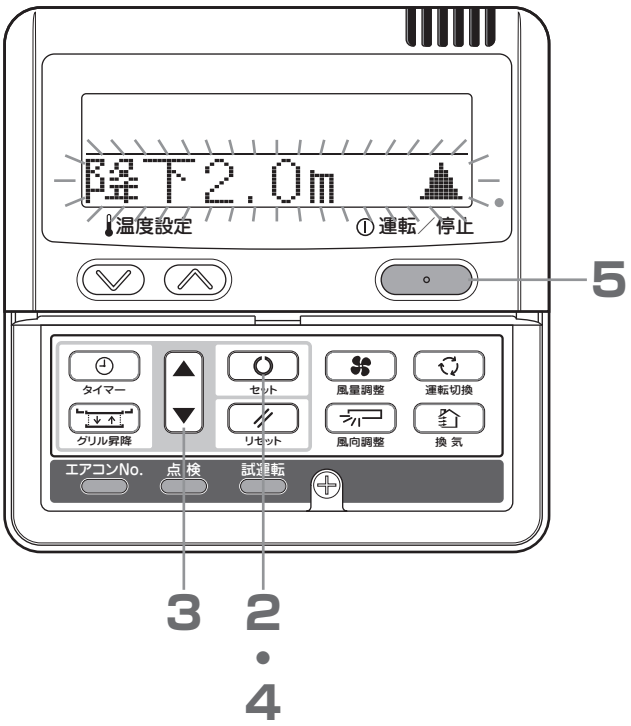
▲スイッチを押す

5 運転／停止スイッチを押す

グリル昇降モードを終了し，エアコン停止状態となります。

吸込グリル降下長の設定 〈ワイヤードリモコン〉

吸込グリルの降下長を変更することができます。



1 グリル昇降スイッチを押す

「 ◆ で昇降する」が表示されている状態にします。
「内　00 ▲」（点滅）表示がでた場合は，室内機番号を選択しセットスイッチを押してください。 ☞16ページ　1〜3項

2 セットスイッチを押す

「データ確認中」と表示されます。
続いて，現在の降下長（例「降下2.0m ▲」）が点滅します。

3 ▲または▼スイッチを押す

0.1m 単位で増減します。降下長さを設定してください。
▲又は▼スイッチを長く押し続けると早送りになります。
降下長の範囲は最小0.1m。最大値はご使用のパネルの最大値となります。

- この時点で降下長の設定を中止する場合はリセットスイッチを押してください。1項の「 ◆ で昇降する」に戻ります。

4 セットスイッチを押す

降下長が確定し，設定値を2秒間表示したあと「 ◆ で昇降する」に戻ります。

5 運転／停止スイッチを押す

グリル昇降モードを終了し，エアコン停止状態となります。

設定の途中で 運転／停止 スイッチを押すとグリル昇降モードを終了し，元の表示に戻ります。設定が完了していない場合は，無効となりますので，ご注意ください。

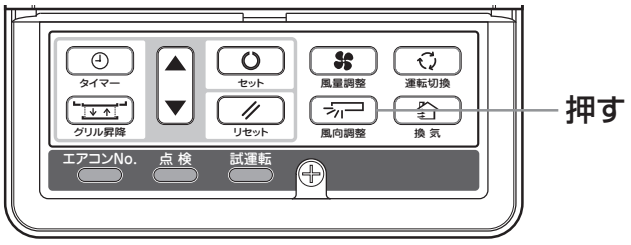
お知らせ

- エアコン選択のときに「全台 ▼」を選択した場合は，全台同一の降下長を設定できます。
- 昇降長設定モード中は次のスイッチ以外は操作無効です。
「グリル昇降」「▲▼」「セット」「リセット」「運転／停止」「エアコンNo.」

風向調整のしかた

風向調整スイッチによる調節（オートスイング機能のある室内機の場合）

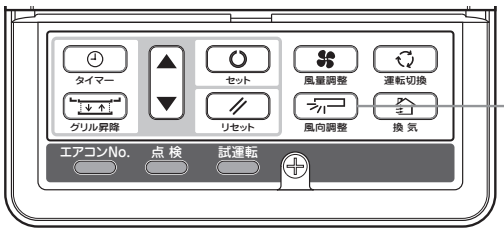
「風向調整」スイッチを1回押すと，現在のルーバ状態が表示されます。



オートスイング中の表示	スイング
ルーバ位置固定中の表示	停止 1
	停止 2
	停止 3
	停止 4

スイングルーバを動かすときは

1.「風向調整」スイッチを押し，表示を「スイング」表示に切換えます。



スイング

暖房準備中，暖房除霜中のスイングルーバの動き

「暖房準備」,「暖房除霜」の表示が出ているときは，スイングルーバは自動的に水平位置になります。



暖房準備，暖房除霜が終わり通常の運転に切り換わると，スイングルーバの位置は設定位置に戻ります。

スイングルーバの位置を固定するとき

1. ルーバがスイングしているときに，「風向調整」スイッチを1回押すと，4箇所の停止位置が1秒間ずつ順番に表示されます。
「選択1」↔「選択2」↔「選択3」↔「選択4」
2. ルーバの表示がご希望の位置にきたときに，「風向調整」スイッチを1回押します。
表示が「停止」に変わり，ルーバ位置が固定されます。

お勧めのルーバ固定位置

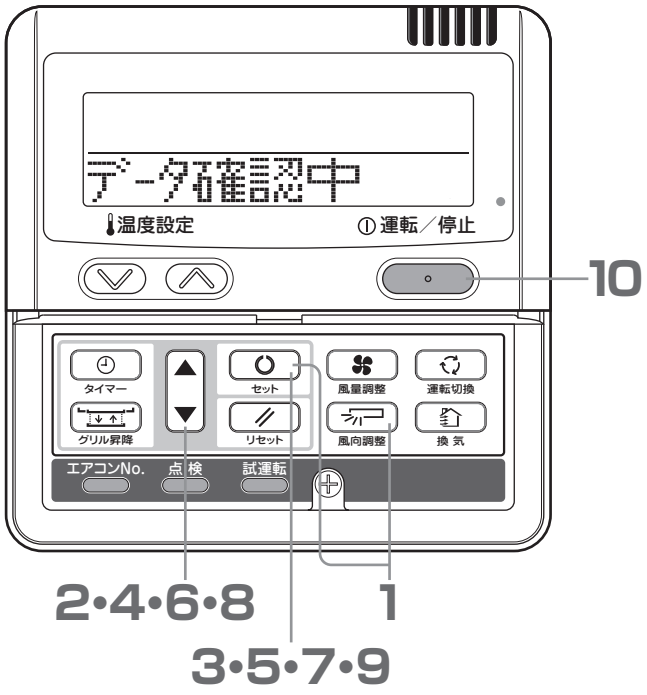
冷房・除湿	選択 1	
	選択 2	
暖　房	選択 3	
	選択 4	この位置で固定される場合は，縦ルーバを左右に振ってください。（FDEの場合）

お 願 い

- スイングルーバを手で無理に動かしますと破損する場合がありますので，手では動かさないでください。
- 冷房運転時は長時間下吹きにしないでください。サイドパネルに露が付き滴下することがあります。（FDEの場合）

風向設定のしかた（天井埋込形FDT，天吊形FDEタイプを使用の場合）

吹出口のルーバの動作範囲を，変更することができます。本モードで上限位置と下限位置を設定すると，ルーバは，設定された上限位置と下限位置の間で動作します。
天井埋込形FDTタイプを使用の場合，各ルーバ毎に個別の動作範囲の設定が可能です。



1 エアコンを停止させて，セットスイッチと風向調整スイッチを同時に3秒以上押す

リモコンに接続されている室内機が1台の場合，下記の表示がでます。その後，**4**項へお進みください。

「データ確認中」
↓
「ルーバNo.1 ▲」

リモコンに接続されている室内機が複数の場合，下記の表示がでます。風向設定をする室内機を選択します。**2**項へお進みください。

「室内機選択 ◆」
↓
「内　000 ▲」



2 ▲または▼スイッチを押す（室内機選択）

風向設定する室内機を選択してください。

[例]

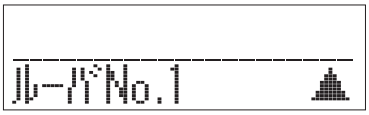
「内　000 ▲」⇔「内　001 ◆」⇔「内　002 ◆」⇔「内　003 ◆」

3 セットスイッチを押す（室内機決定）

選択した室内機が確定します。

[例]

「内　001」（2秒間点灯）
↓
「データ確認中」
↓
「ルーバNo.1 ▲」



4 ▲または▼スイッチを押す（ルーバNo.選択）

左図を参照して，設定するルーバNo.を選択してください。

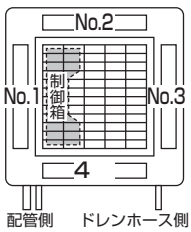
[例]

「ルーバNo.1▲」⇔「ルーバNo.2◆」⇔「ルーバNo.3◆」⇔「ルーバNo.4▼」

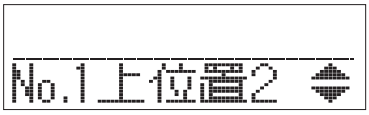
（注）FDEタイプの場合は「ルーバNo.1 ▲」を選んでください。その他のルーバNo.を設定しても無効となります。

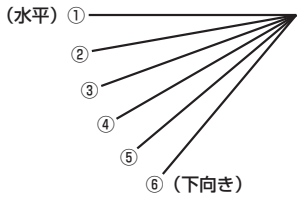
お知らせ

- FDTタイプにおいて，設定したいルーバNo.がわからない場合は，仮に，任意のルーバの上下限位置を設定してください。設定完了後，設定したルーバが停止位置から下限位置まで1度動きますので，ルーバ位置が確認できます。ルーバ位置確認後，再度，設定したいルーバNo.を選択してください。
- FDEタイプの場合は，ルーバNo.1を設定してください。その他のルーバNo.を設定しても無効となります。

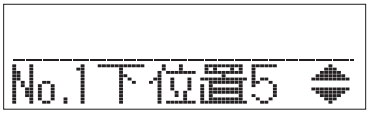


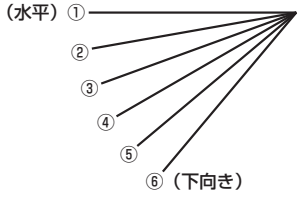
ルーバNo.
[FDT の場合]



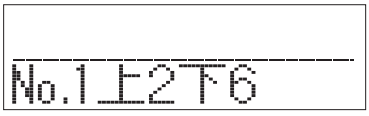


ルーバ位置

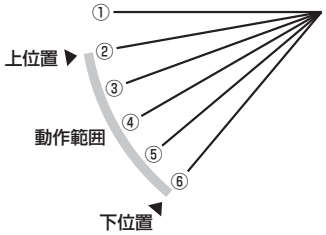




ルーバ位置



［例］上位置２　下位置６の場合



（注）上限値と下限値を同じ位置に設定すると，ルーバはその位置で固定され，オートスイングをしても動きません。

5 セットスイッチを押す（ルーバNo.決定）

ルーバ作動範囲の上限位置を選択します。

［例］No.1のルーバを選択した場合

「No.1 上位置2 ◆」←現在の上限位置を表示します。

6 ▲または▼スイッチを押す（上限位置選択）

ルーバの上限位置を選択します。
「位置1」が最も水平で，「位置6」が最も下向きとなります。
「位置 --」は，出荷時の位置に戻すための番号です。出荷時状態に戻す場合は，「位置 --」を選択してください。

「No.1 上位置1 ▼」（最も水平）
⇔「No.1 上位置2 ◆」
⇔「No.1 上位置3 ◆」
⇔「No.1 上位置4 ◆」
⇔「No.1 上位置5 ◆」
⇔「No.1 上位置6 ◆」（最も下向き）
⇔「No.1 上位置-- ▲」（出荷時の位置へ戻る）

7 セットスイッチを押す（上限位置決定）

上限位置が確定し，設定位置を2秒間表示します。その後，下限位置選択表示となります。

［例］
「No.1 上2」←確定内容を2秒間表示
↓
「No.1 下位置5 ◆」←現在の下限位置を表示します。

8 ▲または▼スイッチを押す（下限位置選択）

ルーバの下限位置を選択します。
「位置1」が最も水平で，「位置6」が最も下向きとなります。
「位置 --」は，出荷時の位置に戻すための番号です。出荷時状態に戻す場合は，「位置 --」を選択してください。

「No.1 下位置1 ▼」（最も水平）
⇔「No.1 下位置2 ◆」
⇔「No.1 下位置3 ◆」
⇔「No.1 下位置4 ◆」
⇔「No.1 下位置5 ◆」
⇔「No.1 下位置6 ◆」（最も下向き）
⇔「No.1 下位置-- ▲」（出荷時の位置へ戻る）

9 セットスイッチを押す（下限位置決定）

上限位置，下限位置が確定し，設定位置を2秒間点灯し，設定完了となります。

- 設定完了後，設定したルーバNo.のルーバが，停止位置から下限位置まで移動し，その後停止位置に戻ります。（但し，リモコンが停止モードであっても，ファン残留運転等で，室内機が運転している場合は，本動作はしません。）

［例］
「No.1 上2下6」←確定内容を2秒間表示
↓
「設定完了」
↓
「ルーバNo.1 ▲」←選択したルーバNo.表示へ戻る。

10 運転／停止スイッチを押す

風向設定モードを終了し，元の表示に戻ります。

お知らせ

- 設定の途中で，［リセット］スイッチを押すと，1回前の表示に戻ります。また，設定の途中で，［運転／停止］スイッチを押すと，本モードを終了し元の表示に戻ります。但し，設定が完了していない内容は無効となりますのでご注意ください。
- リモコンが親子接続されている場合，子リモコンでは，風向設定操作はできません。

快適にお使いいただくために

フィルタの掃除はこまめに

☞21, 22ページ

フィルター掃除表示（サイン）が表示したとき，冷房および暖房シーズンが終わったときには掃除をしてください。

フィルタが目詰まりすると…
- 冷・暖房効果が落ちます。また，電気のむだづかい，運転音も大きくなります。
- 故障の原因になります。
- 冷房時には水滴が落ちることがあります。

室内・室外機の吸込口や吹出口をふさがないで

エアコンに無理がかかって故障の原因になることがあります。
冷やしすぎ，暖めすぎは健康に良くありません。また，電気のむだづかいになります。

直射日光やすき間風を入れない

冷房のときは直射日光をブラインドやカーテンで遮りましょう。窓や出入口は換気のとき以外は閉めましょう。

風向調節をじょうずに

風を長時間直接肌にあてないでください。小動物や植物にも風が直接あたらないようにしてください。

暖房時に足もとが寒いときは

天井が高く足もとまで温風が循環しにくい場合はサーキュレータのご使用をお勧めします。詳しくは販売店にご相談ください。

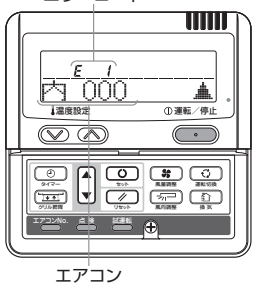
雷が鳴り，落雷のおそれがあるときは運転を止めて電源をOFFに

エアコンの故障の原因になることがあります。

点検表示，フィルタサイン，エアコンNo.，運転準備中・室温表示について

〈ワイヤードリモコン〉

点検表示灯（赤色）が点滅したときは

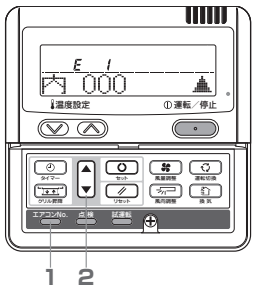


■エアコンに異常が起きるとエアコンが停止します。
同時に点検表示灯が赤色で点滅し，入タイマー表示部にエラーコードが，表示部に下記の表示が出ます。

「内 000」⇔「保護停止中」（2秒ずつ点灯）
↑
（エアコンNo.）

室内機の複数台使用時の異常表示

■接続しているエアコン全てが異常の場合
初期にはエアコンNo.の最も若いエアコンの表示をします。
他のエアコンの異常内容は，下記の手順により確認ができます。

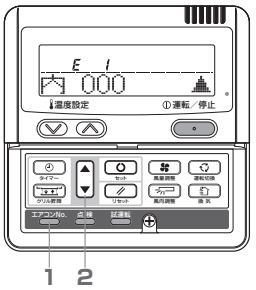


1 エアコンNo.スイッチを押す
エアコンNo.表示モードになります。

2 ▲スイッチを押す
エアコンNo.およびエラーコードを若いNo.順に表示します。
▼スイッチを押すと，逆に表示していきます。

3 運転／停止スイッチを押す
最も若いエアコンの表示に戻ります。

■接続しているエアコンの一部のエアコンに，異常がある場合
異常のあるエアコンの運転のみが停止します。
リモコンには運転中のエアコンの表示が出ます。



1 エアコンNo.スイッチを押す
エアコンNo.表示モードになります。

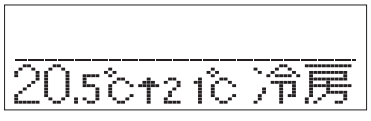
2 ▲スイッチを押す
エアコンNo.を若いNo.順に表示していき，異常のあるエアコンのときにはエラーコードを表示します。
▼スイッチを押すと，逆に表示していきます。

3 運転／停止スイッチを押す
元の表示に戻ります。

お知らせ
- 異常表示中に運転 / 停止スイッチを1回押すと，異常表示が消灯し停止状態の表示になります。
再度運転／停止スイッチを押すと，異常表示が出ます。

室温表示について

室温表示設定を有効にした場合，リモコンの表示に室温を表示させることができます。その場合，風量表示が消えますが，風量調整スイッチは有効です。設定については，お買い上げの販売店にご相談ください。



↑
室温表示

フィルター掃除表示が出たときは



エアフィルタの清掃時期をお知らせするため室内機の延べ運転時間が設定時間に達すると「フィルター掃除」表示が出ます。

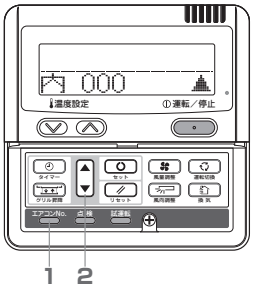
■エアフィルタの掃除をしてください。
☞21, 22ページ
フィルター掃除表示は表示部に表示され，エアコン運転中は5秒おきに1秒間表示します。停止中は常時点灯表示します。

掃除が終わったら

1 リセットスイッチを押す
延べ運転時間がリセットされ，フィルター掃除表示が消えます。

エアコンNo.表示のしかた

エアコンNo.スイッチ操作により，接続されているエアコンNo.および異常履歴のあるエアコンのエラーコードを表示します。



1 エアコンNo.スイッチを押す
エアコンNo.表示モードになり，接続されているエアコンNo.の最も若いエアコンNo.を表示します。その他の表示は全て消灯します。

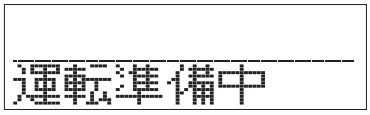
2 ▲スイッチを押す
エアコンNo.を若いNo.順に表示していき，過去に異常のあるエアコンのときにはエラーコードを表示します。
▼スイッチを押すと，逆に表示していきます。

3 運転／停止スイッチを押す
元の表示に戻ります。

お知らせ
- エアコンNo.の表示は，エアコンの運転中，停止中，異常停止中いずれの場合でもできます。
- 「エアコンNo.」「▲」「▼」「運転／停止」スイッチ以外の操作はできません。

運転準備中表示について

電源ブレーカー投入後の初回の運転，もしくは停電からの復電後の初回の運転において，リモコンに「運転準備中」表示が，最大で30分間表示される場合があります。
圧縮機保護の為の，冷凍機油保護制御が作動しており，故障ではありません。申し訳ありませんが，運転準備中の表示が消えるまで，しばらくお待ちください。



お手入れのしかた

エアフィルタの掃除

経済的な冷暖房を行うためにエアフィルタの掃除は定期的に行ってください。

⚠ 注意　**掃除をする時は必ず運転を停止して，電源ブレーカーを切ってください。**
内部でファンが高速回転しており，ケガの原因になることがあります。

⚠ 注意　**エアフィルタの取付・取外しに脚立等を使用する場合は，しっかり固定してください。**
落下・転倒などにより，ケガの原因になることがあります。

⚠ 注意　**エアフィルタを取外すときには目にホコリが入らないように注意してください。**

⚠ 注意　**エアフィルタを取外した状態で運転しないでください。**
内部にゴミが詰まり，故障の原因になります。

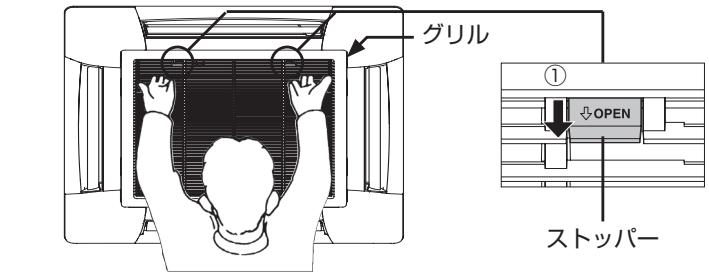
外しかた（ラクリーナパネル以外）

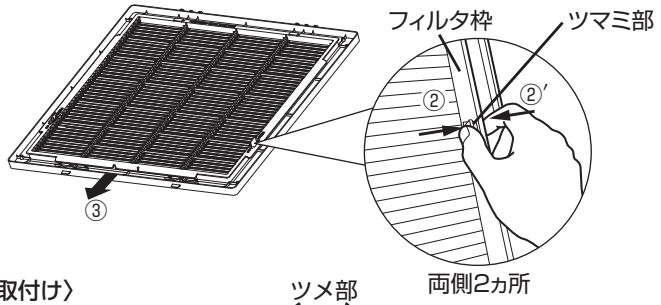
各タイプのエアフィルタは次に示すそれぞれの手順にしたがって，フィルタを取外してください。
（注）グリル自動昇降のしかたは，16ページをご覧ください。

■天井埋込形（FDT）

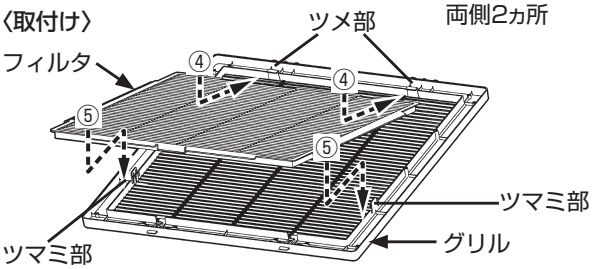
• 吸込グリル・フィルタ取扱方法

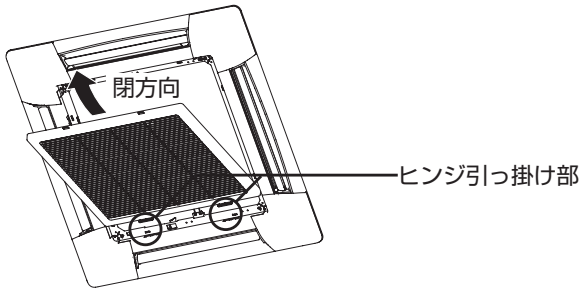
〈取外し〉





〈取付け〉





〈グリルの取外し方法〉

1. グリルのストッパー（2箇所）に指をかけて「OPEN」の方向（矢印①）に押したままグリルを下方へ引くとグリルが開きます。グリルのヒンジを外すと，グリルを取外すことができます。

〈フィルタの取外し方法〉

1. ツマミ部（矢印②）とフィルタ枠（矢印②′）を押しながら，フィルタをツマミ部から外します。フィルタをスライドさせて（矢印③），グリルから取り外します。

〈フィルタの取付け方法〉

1. フィルタの表裏，方向を合わせツメ部にひっかけてください。（矢印④の様にはめ込む）
2. フィルタの穴にグリルのツマミ部（矢印⑤）を，カチッと音がするまで確実にはめ込んでください。

〈グリルの取付け方法〉

1. グリルのヒンジをパネル本体ヒンジ挿入穴に取付けてください。
（グリルのヒンジは4方向どこでも取付け可能です）
2. グリルのストッパー（2箇所）を「OPEN」の方向へ押したまま，閉じてください。その後，ストッパーから手を離してください。

⚠ 注意　**フィルタは確実にグリルに取付けてください。**
確実に取付けないとすきまより風が漏れ，性能低下の原因となります。

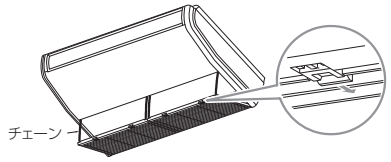
⚠ 注意　**グリルは確実に取付けてください。**
取付けが不完全ですと落下する恐れがあります。

⚠ 注意　**ストッパーが変形・破損した場合は速やかに修理依頼し，交換してください。**
グリルが落下する恐れがあります。

お手入れのしかた

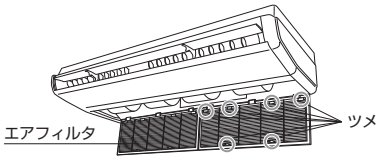
■天吊形（FDE）

1. 吸込グリルのレバーを後方（➡の方向）にスライドさせ下に開いてください。



収納時はレバーを前方へ「カチッ」と音がするまで押して止めてください。

2. 吸込グリルを押えながらフィルタを押してツメから外し，下に引抜いてください。



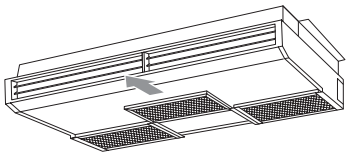
装着時は，フィルタを吸込グリルのツメにはめ込んでください。

■高静圧ダクト形（FDU）

エアフィルタはエアコン設置時に取付けられますので，お買い上げの販売店から取外し方，掃除方法の説明をお受けください。

■天吊耐油形（FDES）

エアフィルタを矢印（⬅）の方向にスライドさせて引き抜いてください。



掃除のしかた

1 水で洗い流して掃除をします。汚れが少ないときは，軽くはたくか，クリーナでも掃除ができます。
汚れがひどいときは，ぬるま湯（30℃位）に中性洗剤を溶かし，ゆすぎ洗いしたあと，水で洗剤をよく洗い落としてください。
FDES（耐油形）の場合は市販の油汚れ用液体洗剤（「銅やアルミには使用不可」と表示されている洗剤はさけてください）で汚れを落とし，水で洗剤をよく洗い落としてください。

2 エアフィルタを乾かしてから本体に取り付け，リセットスイッチを押します。
ラクリーナパネルの場合はグリル昇降スイッチの操作で自動リセットされます。

お 願 い

- 直射日光にあてたり，火であぶって乾かさないでください。フィルタが損傷します。
- エアフィルタを外したままで運転しないでください。エアコンの故障の原因になります。

本体のお手入れ

- 柔らかい布でからぶきして掃除してください。汚れのひどいときは，ぬるま湯に溶かした中性洗剤でふき取ったあと，清水で洗剤をふき取ってください。

シーズンの終わり

- 電源ブレーカーを必ず切ってください。
エアコンは停止中でも数十ワットの電力を消費しています。
- エアフィルタの掃除をして取り付けておいてください。
- 室内および室外機の掃除をして汚れを落としてください。

シーズンの初め

- 室内・室外機の吸込口や吹出口のまわりに風の障害になる物がないか確認してください。
- エアフィルタの点検をしてください。汚れていたら掃除をして取り付けてください。
- **運転開始の6時間前に電源ブレーカーを入れてください。**

故障かな？

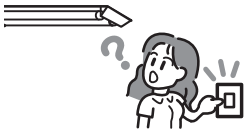
サービスをお申しつけになる前に次のことをお調べください。

まったく運転しない

電源スイッチが OFF になっていませんか。



停電またはヒューズ切れではありませんか。



ラクリーナパネルの吸込グリルが下がっていませんか。

グリル自動昇降モードになっていませんか。吸込グリルを収納させてから運転してください。

漏電遮断器が作動していませんか。

危険です。すぐ電源を切ってお買い上げの販売店にご連絡ください。

冷えや暖まりが悪い

エアフィルタが目詰まりしていませんか。

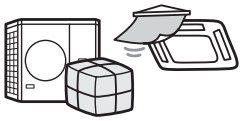


スイングルーバが水平ではありませんか。(暖房時)

スイングルーバが水平ですと風が床面まで届きません。



風の吸込口や吹出口に障害物はありませんか。



冷えが悪い

- お部屋に直射日光があたっていませんか。
- お部屋の中に思わぬ熱源がありませんか。
- 室内の人数が多すぎませんか。

暖房時に風が出ない

暖房準備中ではありませんか。 ☞24ページ



以上のことをお調べいただいても正常に運転しないとき，また次のようなときにはエアコンの運転を止めてお買い上げの販売店にご連絡ください。
• ヒューズやブレーカーがたびたび切れるとき。• 冷房運転中，水が漏れるとき。• 運転動作や運転音に異常があるとき。• 点検表示灯が点滅したとき。

これは故障ではありません。

水が流れるような音がする。	運転開始時，運転途中での圧縮機の発停時および運転停止時「シュルシュル」「ゴボゴボ」という音が出ることがありますが，これは冷媒の流れる音です。
停止中の室内機から「シュー」「ゴボゴボ」という音が出る。	エアコンが自動的に制御を行っている音です。
吹き出す風がにおう。	室内機から吹き出す風がにおうことがありますが，これはエアコンの内部に付いたタバコ，化粧品，家具などのにおいです。
運転中に室内機から白い霧が出る。	飲食店等で油類を多く使う場所でご使用になると，運転中に吹出口から白い霧が吹き出すことがあります。このようなときには販売店にご相談のうえ，熱交換器を洗浄してください。
冷房運転中に送風運転に切り換わった。	室内熱交換器の着霜防止のため，自動的に送風運転に切り換わることがありますが，まもなく冷房運転に戻ります。
停止直後に再運転ができない。	運転を停止してから3分間は運転／停止スイッチを押して「運転」にしても冷房・暖房運転はできません。これは圧縮機を保護する回路が働いているためです。(この間は送風運転となります)
除湿運転中風が出ない。また風量切換ができない。	除湿運転中は冷やしすぎと，湿度の上昇を防ぐため，送風機は自動的に風量弱，停止を繰り返します。
スイングルーバが勝手に動く。	電源ブレーカーを入れた時，2回オートスイングしますが，異常ではありません。また「暖房準備」が表示されているときは，自動的にスイングルーバが水平になります。
暖房運転中に室外機から水や湯気が出る。	これは室外機に付いた霜を取る（除霜運転）ときに出るものです。
運転時に室外機の送風機が回っていない。	除霜運転や外気温が高いときの暖房運転では送風機を止める機能が働きます。また，冷房運転でも外気温が低くなると運転する送風機の数を自動的に制御する機能が働きます。 お願い **停止していても急に送風機が運転することがありますので，指や棒等を入れないでください。**

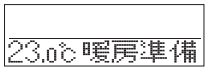
「ピシ，ピシ」という音がする。	温風により樹脂部品等が伸縮する際に発生する音です。
運転停止又は除霜運転時に「シュ」という音がする。	エアコン内部にある冷媒切換弁が作動する時に発生する音です。
ラクリーナパネルの吸込グリル下降・上昇動作中にカクン・カクン音がする。	ワイヤが糸巻に巻かれる音です。
ラクリーナパネルの吸込グリル収納時にゴト・ゴト音がする。	ワイヤのたるみを取り除く動作中に出る音です。約20秒で終わります。
電源ブレーカーを入れただけで運転が開始した。	停電補償が有効に設定されている場合は，停電または，電源ブレーカーを切る前の状態で，復電後運転を開始します。 ☞24ページ
設定温度が変わらない。(設定温度表示が点滅する)	温度設定が固定されていると，▽△スイッチを押しても設定温度は変わりません。 ☞24ページ
リモコン操作をしても，リモコンの「集中管理中」が点滅するだけで運転しない。(ワイヤード機)	「集中管理中」又は「センター」が表示されていませんか。別売りのセンターコンソール等で制御している場合は，リモコンによる運転操作ができない場合があります。
暖房運転中に数分間送風が停止する。	室外機の熱交換器に付いた霜を除去する除霜制御，あるいは自動的に圧縮機保護制御を数時間毎に行います。このとき室内機の送風が停止しますが，まもなく暖房運転に戻ります。(除霜制御中はリモコンに「暖房除霜」と表示します。)

暖房準備について

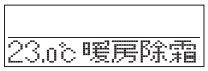
「暖房準備」は次の場合に表示します

リモコン表示部の「暖房準備」は次のような場合に表示します。
ワイヤレス機の場合は本体表示部の運転／点検表示灯が緑色の点滅をします。
ワイヤードリモコンに設定温度と「暖房準備」表示がでます。

- **暖房運転開始のとき**
  冷風の吹出防止のため暖房運転開始時の室内温度に応じて室内の送風が停止の状態になります。しばらくお待ちになれば自動的に通常の暖房運転に切り換わります。



- **除霜運転中（暖房運転時）のとき**
  室外機に霜が付きやすい条件になると自動的に約１時間に5～10分間暖房運転を停止（室内・外機とも送風停止）し，除霜運転を行います。除霜運転終了後は自動的に通常の暖房運転に切り換わります。



暖房運転について

- **ヒートポンプ式暖房**
  冷媒の働きによって室外の空気中に含まれている熱をくみ上げて室内を暖房するしくみをヒートポンプ式暖房といいます。
- **除霜運転**
  ヒートポンプ式エアコンで暖房する場合，室外の温度が下がってくると室外機の熱交換器に霜が付きそのままでは暖房効果が下がりますので，自動的に除霜運転に切り換えて霜を取ります。この間室内および室外機の送風を停止し「暖房除霜」を表示します。
- **外気温度と暖房能力**
  ヒートポンプ式エアコンでは外気温度が下がるにつれて暖房能力は低下します。暖房能力が不足の場合は他の暖房機を併用してください。
- **室内温度が上がるまでの時間**
  ヒートポンプ式エアコンはお部屋全体を暖める温風循環方式ですから室温が上がるまで多少時間がかかります。特に寒い朝などには早めに運転を開始してください。
- **暖房時に室温調節器が働いたとき**
  室内の温度が上がり室温調節器が働いたときは自動的に弱風になります。室温が下がると自動的に通常の暖房運転に切り換わります。

停電補償について〈ワイヤードリモコン〉

お願い

リモコンには停電補償の機能がついており，停電補償を有効とすることができます。（工場出荷時は無効に設定されています）お買い上げの販売店にご相談ください。

■**停電補償とは**

- 停電または電源ブレーカーを切った後，電源が復帰した際に，停電前のリモコン設定状態で自動的に運転を再開する機能です。停電前にエアコンが停止していた場合は，復電後停止となります。
- ただし下記内容についてはリモコンにより再設定が必要です。
  ①タイマー設定はキャンセルされます。但し，時間タイマーは，停電後も復帰します。ウイークリータイマーの設定は，停電後，全曜日休日設定で復帰します。また，時刻は初期設定にもどります。元の状態に戻すには，停電後に時刻合わせを行ったあと，「休日解除」を行ってください。
  ②ルーバ位置は，水平位置で停止します。

お知らせ

停電補償を有効に設定してある場合は，必ず運転を停止してから電源スイッチを切ってください。（運転のまま電源スイッチを切ると，電源スイッチ入と同時に室内機のファンが回ります。また，電源スイッチ入の約3分後に室外機が運転します。）

スイッチ操作禁止設定について〈ワイヤードリモコン〉

お知らせ 下記のスイッチ操作を禁止にする設定ができます。禁止に設定した場合，スイッチを押すと，「操作無効です」と表示され，元の状態に戻ります。設定については，お買い上げの販売店にご相談ください。

①運転／停止スイッチ
②温度設定スイッチ
③風向調整スイッチ
④運転切換スイッチ
⑤風量調整スイッチ
⑥タイマースイッチ

据え付け・移設・点検整備について

エアコンを安全で快適にご使用いただくため次のことをご確認ください。
工事は販売店に依頼し，お客様ご自身ではなさらないでください。

据付場所

風通しの良い場所に据え付けられていますか？
障害物があると能力低下や運転音増大のもとになります。
冷・温風や運転音が近隣の迷惑になっていませんか？

電気工事

⚠ 注意 **アース工事を行ってください。**
アース線は，ガス管，水道管，避雷針，電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は，感電の原因になることがあります。

⚠ 注意 **漏電遮断器の取り付けが必要です。**
漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になることがあります。

電気工事・アース工事資格のある人が，電気設備技術基準にしたがって工事をしてください。

■エアコン専用の配線になっていますか？
■リモコンスイッチの取り付けは正しく行われていますか？
- 露出配線の場合，付属のネジで固定してありますか？
- リモコンコードの固定は付属のリモコンコードクランプを使用していますか？
- お子様の手の届かない高さに取り付けてありますか？

転居や移設のとき

⚠ 警告 **エアコンを移動再設置する場合は，販売店または専門業者にご相談ください。**
据え付けに不備があると水漏れや感電，火災などの原因になります。なお，取り外しや再据え付けには工事費がかかります。

点検整備について

ご使用状況や周囲の環境によっても変わりますが，エアコンを3年程度ご使用になりますと内部が汚れ能力が低下することがありますので，通常のお手入れとは別に点検整備が必要です。お買い上げの販売店とご相談のうえ保守契約（有料）をされるようお勧めします。

運転範囲

お願い 次の運転範囲でお使いください。この範囲外で運転しますと，保護装置が働き運転できないことがあります。

区分＼条件	室内温度は…	室外温度は…	室内湿度は…
冷房運転	約10～30℃ 約10℃以下で長時間運転しますと機械に霜が付き，冷房・除湿運転ができないことがあります。	約－5～43℃ 外気温が0℃以下で強風が吹くと冷房能力が低下し冷えにくくなることがあります。	約80%以下 高い湿度で長時間運転するとエアコンの表面に露が付いて水滴が落ちたり，吹出口から煙のような霧が吹き出すことがあります。
暖房運転	約27℃以下	約－10～21℃ 外気温が低くなると暖房能力が低下し，暖まりにくくなります。	

（注）機種によって運転範囲が異なる場合があります。カタログ等で，ご確認ください。

パッケージエアコンの主な部品の保守・点検ガイドライン

この表は、一般的な使用条件下における定期点検の内容とその周期（点検周期）及び部品交換などの目安を示しています。建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）施行規則等の法令・規定で定められている対象設備に該当する場合は、法規に従った保守点検も実施してください。予防保全については、定期点検の実施周期を<点検周期>として表し、定期点検の点検結果に基づき必要となるであろう「清掃・調整の実施」又は「部品交換・修理実施」の予測周期を<保全周期>として表しています。清掃・調整については、部品の劣化及び性能低下を防止する為に、また、点検後の部品交換・修理

【主として室内側の部品と組込部品】 ※室内側･室外側の区分は店舗用エアコン､ビル用マルチエアコンを想定しています。設備エアコンなどユニット

部品名			定期点検		
部品名			点検内容	点検方法	判定基準<目安>
構造部品	化粧パネル（意匠部）		・汚れ、傷のチェック	目視点検	・著しい汚れ、傷、変形がないこと
	吸込・吹出グリル		・目視による汚れ、傷のチェック ・吹き出しグリルルーバ動作確認	目視点検	・著しい傷、変形がないこと
	フレーム・底板類		・錆、断熱材の剥がれチェック ・塗装被膜の剥がれ、浮きのチェック	目視点検	・著しい錆、断熱材の損傷がないこと
	防振ゴム		・ゴムの劣化、硬化のチェック	目視・聴感点検	・防振機能に弊害がないこと
送風系統部品	フィルタ		・目視による汚れ、破れチェック	目視点検	・ろ材が透けて見えること ・破れ、変形がないこと
	ファン ファンケーシング		・振れ、バランスの目視チェック ・ゴミの付着、外観チェック	目視点検 目視点検	・著しい振れ状態でないこと ・著しい錆、変形の発生がないこと
	ファンモータ		・音の聴感チェック ・絶縁抵抗の測定	聴感点検 500V メガ	・異常音の発生がないこと ・1MΩ以上のこと
	ファンベルト		・摩耗、傷、緩みなどを定期点検	目視・聴覚点検 ベルトの張り点検	・著しい摩耗、異常音がないこと ・ベルトたわみ量などメーカの判定基準による
	ベアリング		・定期的に給油が必要	聴覚点検	・異常な音の発生がないこと
	オートルーバモータ		・絶縁抵抗、異常音発生	500V メガ・聴感点検	・1MΩ以上のこと、異常音がないこと
ドレン系統部品	ドレンパン		・ゴミ詰り、ドレン水の流れチェック ・塗装被膜の剥がれ、浮きのチェック	目視点検	・排水詰りがないこと ・異常な錆の発生、穴開きがないこと
	ドレンポンプ		・排水状態のチェック ・給排水口の詰まり汚れチェック ・絶縁抵抗	目視点検 目視点検 500V メガ	・正常に排水されていること ・詰まり汚れがないこと ・1MΩ以上のこと
	結露防止ヒータ		・絶縁抵抗、外観チェック	500V メガ・目視点検	・1MΩ以上のこと、異常がないこと
	フロートスイッチ		・動作確認	テスター	・ON−OFF 動作正常のこと
冷媒系統部品	空気熱交換器		・ゴミによる目詰まり、損傷チェック ・ガスもれ	目視点検 ガス検知器	・目詰まり、損傷がないこと ・漏れ検知がないこと
	機内配管		・機内配管の共振、接触、腐食 ・キャピラリーチューブの共振、接触	目視点検 目視点検	・異常な共振、音、腐食がないこと ・異常な共振、接触摩耗がないこと
	電子式膨張弁		・動作チェック ・電源入切にて、動作音（圧力確認）	触感点検 聴感･触感点検	・冷媒循環を感じること ・駆動音と温度変化があること
	電磁弁、四方弁等		・電磁弁、四方弁等の動作、絶縁性能 ・腐食、異常音	500V メガ 目視・聴感点検	・1MΩ以上のこと ・異常な音、腐食がないこと
電気･電子部品	電装BOX （インバータ含む）		・回路の絶縁抵抗チェック ・端子部、コネクター緩みチェック	500V メガ ドライバー・目視点検	・1MΩ以上のこと ・接続部分に緩みがないこと ・堆積異物がないこと ・異常表示しないこと
	スイッチング電源トランス		・出力電圧測定	テスター	・出力電圧が規定値以内であること
	温度センサー ヒューミディスタット		・オープン、ショート、地絡、外観チェック	テスター、目視点検	・規定の抵抗値であること 亀裂、変色なきこと
	リモコンスイッチ		・操作による、制御性チェック	目視点検	・操作通り液晶表示すること
付加機能部品	補助暖房用電気ヒータ		・発熱部、安全装置の損傷などの外観 ・絶縁抵抗チェック ・ほこりの付着	目視点検 500V メガ 目視点検	・損傷、変形の発生がないこと ・1MΩ以上 ・ほこり付着がないこと
	高性能フィルター		・ゴミによる目詰まりチェック ・外観	目視点検	・短期に著しい詰まりがないこと ・変形、損傷がないこと
	電気集塵器		・絶縁抵抗チェック ・電離部、集塵部、絶縁部の汚れチェック ・異常音チェック	500V メガ 目視点検 聴感点検	・1MΩ以上 ・ゴミの推積、破損、変形がないこと ・異常音がないこと
	自然蒸発式加湿器	加湿エレメント	・親水化、水供給、スケールのチェック ・水槽類のゴミ、汚れ ・エレメントの汚れ	目視点検	・各社の判定基準のよる
		加湿器弁類	・絶縁抵抗チェック ・異常音チェック	500V メガ 聴感点検	・1MΩ以上 ・異常音がないこと
		加湿器用ストレーナ	・ストレーナ詰りのチェック	目視点検	ゴミ詰りがないこと
	蒸気加湿器		・加湿状態、蒸気供給状態のチェック ・ノズルのチェック ・蒸発槽の汚れ（スケール等） ・蒸気圧力のチェック ・絶縁抵抗チェック	目視点検 500V メガ	・蒸気発生は規定通りのこと ・1MΩ以上
	超音波加湿器		・水槽のゴミ，汚れチェック ・振動子の汚れチェック ・加湿状態、水供給のチェック ・絶縁抵抗チェック ・ストレーナ詰りのチェック	目視点検 500V メガ	・蒸気発生量は規定通りのこと ・1MΩ以上

注1）偶発故障は、部品・機器の耐用年数期間内において、摩耗が進行する以前に起こる予期できない突発的な故障で、技術的な対策をたてることが難しく、現時点では、統計的な取扱に基づく施策しかとることができません。

注2）※印経過年数は頻繁な発停のない通常の使用状態で、10 時間／日、2,500 時間／年と仮定した場合です。運転状況により異なりますので保守契約時にご確認ください。

注3）▁◢ は、摩耗故障の始まる時点を予測し、経過年数と共に、故障率があがってい

については、各部品の摩耗故障域に達する運転時間又は使用期間を予測し定めています。

記号の説明
- ●：点検結果により、清掃・調整の実施
- ▲：点検後異常時は、部品交換・修理実施
- ◇：定期交換を実施（消耗部品）

の構成により異なりますのでご注意ください。

予防保全 ※																	
保全内容	点検周期	保全周期（使用時間/期間）	経過年数 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	備　考
・中性洗剤による洗浄・補修塗装による塗装	1年毎 冷房シーズン前	8年		偶発故障						▲							摩耗故障	清掃対象品
・変形、損傷の場合は修正又は交換 ・動作異常時は軸受、モータなど交換		8年		偶発故障						●							摩耗故障	
・断熱材剥がれの場合は補修・貼り付け ・補修塗料による塗装		8年		偶発故障						▲							摩耗故障	清掃対象品
・劣化、硬化時は交換		10年		偶発故障								▲					摩耗故障	
・汚れている時は清掃 ・破れている時は交換	1週間毎[注4]	5年		偶発故障			◇		偶発故障			◇		偶発故障			◇	消耗部品
・振れ、バランスが著しく悪い時は交換 ・ゴミ付着大の場合、ハケ清掃又は水洗浄	1年毎 冷房シーズン前	13年		偶発故障											●		摩耗故障	
・ベアリング音が大きい時はベアリング交換 ・1MΩ以下の時はモータ交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・定期的に部品交換		5,000 Hr		◇		◇		◇		◇		◇		◇		◇		消耗部品
・定期的に部品交換		15,000 Hr		偶発故障				◇	偶発故障					◇	偶発故障			消耗部品
・1MΩ以下の時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・ドレンパンの清掃、傾斜の確認 ・補修塗装、程度によってはドレンパン交換		8年		偶発故障						▲							摩耗故障	清掃対象品
・排水不良時は交換 ・詰まり汚れ時は清掃 ・1MΩ以下の時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・1MΩ以下の時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・動作不良の時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・目詰まり時は、空気流入側の洗浄 ・ガス漏れ検出時は、修理又は交換		5年		偶発故障			●		偶発故障		●	偶発故障		●	偶発故障	●	●	清掃対象品 雰囲気汚れによる
・腐食の著しい時は交換、配管の手直し ・摩耗の著しい時は交換、配管の手直し		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・ロック発生時は、交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・1MΩ以下の時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・ゴミ付着大の場合、ハケ清掃 ・1MΩ以下の時は交換 ・緩みがあれは増し締め、再差込		25,000 Hr		偶発故障								▲					摩耗故障	
・電圧異常があれば交換		10年		偶発故障								▲					摩耗故障	
・断線、ショートの場合は交換		5年		偶発故障			▲										摩耗故障	
・制御の追従性、表示不良の時は交換		25,000 Hr		偶発故障								▲					摩耗故障	
・損傷、変形がある場合は交換 ・1MΩ以下の時は交換 ・ほこり付着がある時は清掃	1年毎 暖房シーズン前	8年		偶発故障						▲							摩耗故障	
・目詰まりフィルターは交換 ・変形損傷がある場合は交換 ・定期的に交換	1年毎 冷房シーズン前	1年	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	消耗部品
・1MΩ以下の時は交換 ・洗浄、放電線切れ時は交換		8年		偶発故障						▲							摩耗故障	清掃対象品
・親水化による劣化が著しい時は交換 ・汚れているときは清掃	1年毎 暖房シーズン前	3年		偶発故障	◇		偶発故障	◇		偶発故障	◇		偶発故障	◇		偶発故障	◇	消耗部品
・1MΩ以下の時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・定期的に洗浄		10年		偶発故障								▲					摩耗故障	清掃対象品
・ノズル詰り発生時は詰り除去 ・スケール除去 ・1MΩ以下の時は交換		5年		偶発故障			●		偶発故障		●		偶発故障				●	清掃対象品
・汚れているときは清掃 ・1MΩ以下の時は交換		3年		偶発故障	●		偶発故障	●		偶発故障	●		偶発故障	●		偶発故障	●	清掃対象品

く傾向を表した図です。

注4）フィルタの点検実施時期は基本的に1週間としていますが、フィルタの種類や使用環境で汚れ具合は異なりますので、使用環境に応じて任意周期で点検を行ってください。

【主として**室外側**の部品】 ※室内側･室外側の区分は店舗用エアコン､ビル用マルチエアコンを想定しています。設備エアコンなどユニットの構成により

部品名			定期点検		
部品名			点検内容	点検方法	判定基準<目安>
構造部品	ガード類		・塗装被膜の剥がれ、浮きのチェック ・樹脂部品の割れ、ヒビのチェック	目視点検	・著しい錆の発生、ヒビ、割れなどがないこと
	フレーム・底板類		・錆、断熱材の剥がれチェック ・塗装被膜の剥がれ、浮きのチェック	目視点検	・著しい錆、断熱材の損傷がないこと
	防振ゴム		・ゴムの劣化、硬化のチェック	目視・聴感点検	・防振機能に弊害がないこと
送風系統部品	ファン ファンケーシング		・振れ、バランスの目視チェック ・ゴミの付着、外観チェック	目視点検 目視点検	・著しい振れ状態でないこと ・著しい錆、変形の発生がないこと
	ファンモータ		・音の聴感チェック ・絶縁抵抗の測定	聴感点検 500V メガ	・異常音の発生がないこと ・1MΩ以上のこと
	ベアリング		・定期的に給油が必要	聴覚点検	・異常な音の発生がないこと
冷媒系統部品	圧縮機		・起動、運転、停止時の音聴感、振動 ・絶縁抵抗の測定(各メーカーの指定時間通電後) ・端子の緩み、配線の接触	目視･聴感･触感点検 500V メガ ドライバー・目視点検	・異常な音、振動がないこと ・1MΩ以上のこと ・緩み、接触がないこと
	空気熱交換器		・ゴミによる目詰まり、損傷チェック ・ガスもれ	目視点検 ガス検知器	・目詰まり、損傷がないこと ・漏れ検知がないこと
	機内配管		・機内配管の共振、接触、腐食 ・キャピラリーチューブの共振、接触	目視点検 目視点検	・異常な共振、音、腐食がないこと ・異常な共振、接触摩耗がないこと
	電子式膨張弁		・動作チェック ・電源入切にて、動作音（圧力確認）	触感点検 聴感･触感点検	・冷媒循環を感じること ・駆動音と温度変化があること
	電磁弁、四方弁等		・電磁弁、四方弁等の動作、絶縁性能 ・腐食、異常音	500V メガ 目視・聴感点検	・1MΩ以上のこと ・異常な音、腐食がないこと
	容器関係		・アキュームレータ、オイルセパレータ等の腐食	目視点検	・異常な腐食がないこと
	保護装置 (保安部品)	圧力遮断装置	・動作圧力、ガス漏れ、絶縁抵抗	圧力計ほか	・設定値で作動のこと ・法規上の規定事項を遵守すること
		可溶栓	・外観チェック (可溶合金の膨らみ)	目視点検	・可溶合金が正常位置のこと
電気･電子部品	クランクケースヒータ		・導通チェック ・絶縁抵抗の測定 ・外観チェック	テスター 500V メガ 目視点検	・導通があること ・1MΩ以上のこと ・異常がないこと
	凍結防止ヒータ		・導通チェック ・絶縁抵抗、外観チェック	テスター 500V メガ・目視点検	・導通があること ・1MΩ以上のこと、異常がないこと
	電装BOX(インバータ含む)		・回路の絶縁抵抗チェック ・端子部、コネクター緩みチェック	500V メガ ドライバー・目視点検	・1MΩ以上のこと ・接続部分に緩みがないこと
		電解コンデンサ	・コンデンサ（電解）外観チェック	目視点検	・液もれ、変形がないこと
		平滑コンデンサ	・静電容量、絶縁抵抗の測定 ・外観チェック	静電計、500V メガ テスター	・規定容量以上のこと ・1MΩ以上のこと
		端子台	・端子部ネジ緩み、汚れ堆積	ドライバー・目視点検	・緩みなきこと ・堆積異物がないこと
		電装部品 （基板類も含む）	・HIC 基板の短絡チェック ・基板類へのゴミ付着の目視チェック ・自己点検モード、外観チェック	テスター 目視点検 目視点検	・規定の抵抗値であること ・堆積異物がないこと ・異常表示しないこと
	圧力センサー、温度センサー		・オープン、ショート、地絡、外観チェック	テスター、目視点検	・規定の抵抗値であること ・亀裂、変色なきこと
	開閉器類 (FFB､ELB含む)	電磁開閉器 過電流継電器 補助リレー類	・動作、外観チェック ・接点の荒れ	目視点検 目視点検	・変形なきこと ・設定通り作動、変形なきこと ・変形、変色なきこと
	スイッチング電源トランス		・出力電圧測定	テスター	・出力電圧が規定値以内であること
	冷却ファン		・絶縁抵抗、異常音発生	500V メガ・聴感点検	・1MΩ以上のこと、異常音なきこと
	ヒューズ		・外観チェック	目視点検	・変形、変色なきこと

注1）偶発故障は、部品・機器の耐用年数期間内において、摩耗が進行する以前に起こる予期できない突発的な故障で、技術的な対策をたてることが難しく、現時点では、統計的な取扱に基づく施策しかとることができません。

注2）※印経過年数は頻繁な発停のない通常の使用状態で、10 時間／日、2,500 時間／年と仮定した場合です。運転状況により異なりますので保守契約時にご確認ください。

注3） は、摩耗故障の始まる時点を予測し、経過年数と共に、故障率があがっていく傾向を表した図です。

記号の説明
- ●：点検結果により、清掃・調整の実施
- ▲：点検後異常時は、部品交換・修理実施
- ◇：定期交換を実施（消耗部品）

異なりますのでご注意ください。

予防保全 ※																	
保全内容	点検周期	保全周期（使用時間/期間）	経過年数 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	備　考
・補修塗料による塗装 ・ヒビ、割れなど損傷ある場合は交換。	1年毎 冷房 シーズン前	8年		偶発故障						▲							摩耗故障	清掃対象品
・断熱材剥がれの場合は補修・貼り付け ・補修塗料による塗装		8年		偶発故障						▲							摩耗故障	清掃対象品
・劣化、硬化時は交換		10年		偶発故障								▲					摩耗故障	
・振れ、バランスが著しく悪い時は交換 ・ゴミ付着大の場合、ハケ清掃又は水洗浄		10年		偶発故障								●					摩耗故障	
・ベアリング音が大きい時はベアリング交換 ・1MΩ以下の時はモータ交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・定期的に部品交換		15,000 Hr		偶発故障			◇		偶発故障					◇		偶発故障		消耗部品
・異常な場合は、交換 ・1MΩ以下の時は交換 ・増し締め。配線経路の修正		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・目詰まり時は、空気流入側の洗浄 ・ガス漏れ検出時は、修理又は交換		5年		偶発故障			●		偶発故障		●	偶発故障		●	偶発故障	●	●	清掃対象品 雰囲気汚れによる
・腐食の著しい時は交換、配管の手直し ・摩耗の著しい時は交換、配管の手直し		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・ロック発生時は、交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・1MΩ以下の時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・腐食発生の場合、補修塗装		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・設置値許容範囲で作動しない場合は交換		25,000 Hr		偶発故障								▲		偶発故障				
・可溶合金が正常位置より膨らんでいる場合は交換		15,000 Hr		偶発故障			▲		偶発故障					▲		偶発故障		
・導通がない場合は交換 ・1MΩ以下の時は交換		8年		偶発故障						◇		偶発故障						消耗部品
・導通がない場合は交換 ・1MΩ以下の時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・ゴミ付着大の場合、ハケ清掃 ・1MΩ以下の時は交換 ・緩みがあれは増し締め、再差込 ・外観チェックと液洩れなどがあれば交換		25,000 Hr		偶発故障								▲					摩耗故障	
・定期的に部品交換 ・1MΩ以下の時は交換		10年		偶発故障								◇		偶発故障				消耗部品
・緩みあれば増し締め。 ・堆積異物付着の場合はハケ清掃		25,000 Hr		偶発故障								▲					摩耗故障	
・規定の抵抗値以外であれば交換 ・堆積異物付着の場合はハケ清掃 ・部品交換または修正		25,000 Hr		偶発故障								▲					摩耗故障	
・断線、ショートの場合は交換		5年		偶発故障			▲										摩耗故障	
・動作不良又は変形、変色の時は交換		25,000 Hr		偶発故障								▲					摩耗故障	
・電圧異常があれば交換		10年		偶発故障								▲					摩耗故障	
・1MΩ以下の時は交換 ・ファンロック時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・遮断時交換		10年		偶発故障								◇		偶発故障				消耗部品

MEMO

保証とアフターサービスについて

保証について（保証期間は，納入日から起算して1年間です。）

この製品には保証書が付いています。

- 保証書はお買い上げの販売店で所定事項を記入しお渡ししますので，記載内容をご確認の上，大切に保管してください。
- 保証期間中，万一故障した時は，お買い上げの販売店または指定のサービス店にご連絡ください。保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。（保証期間経過後の修理は有償になります。）保証期間中でも有償になる場合がありますので，保証書をよくお読みください。
- 良好な状態で長く安心してご使用いただくために，お客様の行う日常点検（フィルタ清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。標準的な保守点検の，「点検周期」および定期点検に伴う「保全周期」［主要部品の交換・修理実施周期］は，**表-1を目安にされると便利です。（表-1は，保守・点検ガイドライン（P25～28）からの抜粋を含みます。）**

また，代表的「消耗部品」の例を**表-2**に示します。**（表-2は，保守･点検ガイドライン（P25～28）からの抜粋を含みます。）**

なお，保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので，契約時によくお確かめください。

機器予防保全の目安

保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。
下記は，以下のご使用条件の場合です。

①頻繁な発停のない，通常のご使用状態であること。
②製品の運転時間は，10時間 / 日，2,500時間 / 年と仮定しています。

また，下記の項目に適合する時には，「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

①温度・湿度の高い場所あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
②電源（電圧，周波数，波形歪み等）や負荷変動が大きい場所でご使用される場合。
③振動，衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。
④塵埃，塩分，亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。

表-1.「点検周期」及び「保全周期」の一覧表

主要部品名	点検周期	保全周期［交換又は修理］
圧縮機	1年	20,000時間
モータ（ファン，ルーバ，ドレンポンプ用など）		20,000時間
電装部品（基板類も含む）		25,000時間
膨張弁		20,000時間
バルブ（電磁弁，四方弁など）	1年	20,000時間
センサー（サーミスター，圧力センサーなど）		5年
ドレンパン		8年

注（1）本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。この保全期間は，製品を長く安心してご使用いただくために，保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので，適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
注（2）ドレンポンプ保全周期（交換）は，冷房時使用を想定しております。暖房時も使用の場合は，15,000時間が目安となります。

- 定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生する事があります。この場合，保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

補修用部品の保有期間について

このエアコンの補修用部品の最低保有期間は，製造打ち切り後9年間となっています。この期間は経済産業省の指導によるものですが，当社はこの基準により補修用部品を調達した上修理によって性能を維持できる場合は，お客様のご要望により有償修理を実施致します。

消耗部品の交換周期目安

交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。

表-2. 消耗部品の「交換周期」一覧表

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1週間※	5年	ヒューズ	1年	10年
高性能フィルター	1年※	1年	加湿器エレメント		3年
ファンベルト	1年	5,000時間	クランクケースヒータ		8年
ベアリング		15,000時間	平滑コンデンサ		10年

※フィルタの点検実施時期は，フィルタの種類や使用環境で汚れ具合は異なりますので，使用環境に応じて任意周期で点検を行ってください。

アフターサービスご契約のおすすめ

当社指定のサービス会社と保守契約(有料)いただければ,専門のサービスマンがお客様に代わって保守・点検を致します。万一の故障の時も早期に発見し適切な処置を行う事ができます。

移設および廃棄・整備について



- 転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので，お買い上げの販売店または弊社窓口にご相談ください。
- エアコンを廃棄・整備される場合は冷媒の回収などが必要ですので，お買い上げの販売店または弊社窓口にご相談ください。
- この製品はフロン排出抑制法の第 1 種特定製品です。

（1） フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
（2） この製品を廃棄・整備する場合には，フロン類の回収が必要です。
（3） フロン類の種類・数量およびその地球温暖化係数は，製品に貼り付けの装置銘板・冷媒量記入銘板に記載されています。
（4） エアコンを廃棄・整備するときは，都道府県に登録された第 1 種フロン類充塡回収業者にフロン類の回収を依頼してください。このときフロン類の回収処理費用を機器廃棄業者に負担いただくことになっています。

切り取り線

［アンケート］ 下記の1～5につき、該当する項目に○印をご記入ください。

1．お客様の業種（複数回答）

1	建築・設備業	7	金融・保険業	13	学校・病院・診療所
2	製造業一般	8	不動産業	14	旅館・ホテル
3	百貨店・スーパー等大形店舗	9	運送・倉庫業	15	官公庁・公団
4	中小小売店舗	10	電力・ガス熱供給業	16	家庭・住宅
5	卸売・商社	11	理容・美容業	17	リース業
6	飲食店(含むレストラン・バー)	12	娯楽・遊戯場	18	その他

2．購入の決定にあたって（複数回答）

1	自分でもよく検討したうえ、決定した
2	自分でも検討はしたが、販売店のすすめに従った
3	販売店にまかせた
4	知人・友人からの推薦
5	会社の指定
6	設計事務所または建築会社の推薦

（1．2の時のみ）→3．購入理由（3つまで）

1	省エネ
2	省スペース
3	デザイン
4	価格
5	低騒音
6	操作性
7	メーカ
8	アフターサービス
9	その他（　　）

4．購入形態

1	新規
2	買替
3	買増

（2の時のみ）→5．1 旧製品を買替した理由（複数回答）

1	改築にあわせて
2	古くて故障したため
3	古くはないが､故障したため
4	古くなったため
5	音が大きくなったため
6	省エネタイプでないため
7	有効スペースを得るため
8	その他（　　）

→5．2 旧製品メーカー（複数回答）

1	三菱重工
2	三菱電機
3	ダイキン
4	日立
5	東芝
6	松下
7	三洋
8	その他

→5．3 旧製品の使用年数（複数回答）

1	5年未満	5	8年
2	5年	6	9年
3	6年	7	10年
4	7年	8	11年以上

［自由記入欄］　お気づきの点等ございましたらご記入ください。

誠に有難うございました。今後とも三菱重工製品をご愛用賜りますようお願い申し上げます。

サービスをお申しつけになるときは次のことをお買い上げの販売店にご連絡ください

- エアコンのタイプ：
- エアコンの形式名：
- ご　購　入　日：
- 異 常 の 内 容：できるだけ詳しく。エラーコード，メッセージ等表示されている場合は表示内容についても連絡願います。
- ご　　住　　所：
- ご　　氏　　名：
- 電　話　番　号：
- 訪問ご希望日時：

■お客様メモ

ご購入店名：

電話番号：

担 当 者：

ご購入日：　　年　　月　　日

お客様ご相談窓口

アフターサービスはお買い上げ店にご依頼ください。なお，転居その他の理由でお買い上げ店にアフターサービスを依頼することができない場合は，下記のお客様相談センターにご相談ください。（電話番号は予告なく変更することがありますのでご了承ください。）

三菱重工冷熱株式会社

サービスフロントセンター（修理受付，部品，技術相談）　0120-975-365

三菱重工

三菱重工サーマルシステムズ株式会社　〒100-8332 東京都千代田区丸の内三丁目2番3号
三菱重工冷熱株式会社　〒108-0023 東京都港区芝浦 2-11-5

切り取り線

郵 便 は が き

誠に恐れ入りますが、切手を貼ってご投函ください。

4 5 2-8 5 6 1

愛知県清須市西枇杷島町
旭三丁目１番地

三菱重工サーマルシステムズ株式会社

業務用空調機
ご愛用者アンケート係　行

この度は、当社の業務用空調機をお買い上げ頂きまして誠に有難うございました。
今後の参考にお客様のご意見をお聞かせ願いたく誠にお手数ですが以下の項目にご記入のうえ、切手を貼ってご投函ください。ご返送頂きましたお客様には、粗品を送付させて戴きます。

ご住所	〒□□□-□□□□　(Tel)　－　－ 都・道 府・県		
社名・店名			
部課名 ご氏名			
ご購入の販売店		室内機形式	
据付年月		室外機形式	

メーカー記入欄 □□□□□□-□□□

お客様ご相談窓口・ご愛用者アンケート係におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱重工サーマルシステムズ株式会社および三菱重工冷熱株式会社（以下「当社」）は，お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を，下記のとおり，お取り扱いします。

1．当社は，お客様の個人情報を当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき，これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。なお，修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合，法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合，その他正当な理由がある場合を除き，当社以外の第三者に個人情報を開示･提供いたしません。
2．当社は，お客様の個人情報を，適切に管理します。
3．お客様の個人情報に関するお問い合わせは，ご相談いただきましたお客様ご相談窓口にご連絡ください。